

工事見積書2

ver.1.8.11

ユーザーズマニュアル



Dango Brothers.com

ダンゴブラザーズ・ドットコム株式会社

目 次

1	はじめに	5
1.1	概要.....	5
1.2	主な機能.....	5
1.3	インストール.....	5
1.4	アンインストール.....	6
1.5	動作環境.....	6
1.6	機能一覧.....	6
1.7	クライアント/サーバシステムでの運用.....	7
	サーバの設定.....	7
	クライアントの設定.....	7
1.8	基本的な操作方法.....	9
	一覧画面.....	9
	編集画面.....	10
	選択リスト画面.....	11
	ファイルのインポート画面.....	12
2	初期設定	13
2.1	自社情報.....	13
2.2	社員.....	15
2.3	顧客.....	16
	宛名ラベルの印刷.....	17
2.4	部材.....	18
	部材の分類の編集.....	19
	部材のインポート.....	20
2.5	書式.....	20
	テンプレートファイルの編集.....	23
	見積書の変数.....	25
	旧バージョンのテンプレートファイルとの違い.....	28
3	見積書	29
3.1	見積書の一覧.....	29
	表示する列の設定.....	29
	見積書の抽出.....	30
	見積書のクイック検索.....	31
	見積書の新規作成.....	31
3.2	見積書画面のメニュー.....	31
3.3	自動保存の初期設定を行う.....	34
3.4	表紙を作成する.....	35
3.5	内訳を作成する.....	36
3.6	単価や端数処理の設定を変更する.....	38
3.7	法定福利費の設定.....	39
3.8	行を挿入・削除する.....	40
3.9	内訳の数量や単価を入力する.....	40
3.10	セルの内容を複製する.....	41
	「複製 [F8]」機能を使用する.....	41
	「Enter」キーで複製する.....	41
	「↑」キーで離れたセルの項目を複製する.....	42
3.11	他の見積書から内訳を読み込む.....	42

3.12	クリップボードから貼り付ける	42
3.13	部材マスタを活用する	43
3.14	マスタリストを活用する	43
3.15	電卓を活用する	44
3.16	履歴から検索する	45
3.17	諸経費行を追加する	46
3.18	小計・合計行を追加する	46
3.19	数量を一括設定する	47
3.20	単価を一括設定する	47
3.21	内訳の No を一括設定する	48
3.22	行の並べ替えを行う	49
3.23	値引の入力や消費税率の設定を行う	49
	<i>税抜単価の場合</i>	<i>49</i>
	<i>税込単価の場合</i>	<i>50</i>
3.24	見積書を印刷する	50
3.25	見積書を PDF ファイルに書き出す	51
3.26	見積書をエクセルファイルに書き出す	51
3.27	エクスポート	52
3.28	インポート	52
3.29	スマートフォン用エクセルファイルを使う	53
	<i>エクセルファイルを作成する</i>	<i>53</i>
	<i>エクセルファイルを編集する</i>	<i>54</i>
	<i>編集したエクセルファイルを読み込む</i>	<i>55</i>
4	保守・環境	56
4.1	旧バージョンのデータをインポート	56
4.2	最新データに更新	57
4.3	環境設定	57
	<i>表示タブ</i>	<i>57</i>
	<i>自動保存タブ</i>	<i>58</i>
	<i>色タブ</i>	<i>59</i>
	<i>書式タブ</i>	<i>60</i>
	<i>バックアップタブ</i>	<i>61</i>
	<i>サーバタブ</i>	<i>62</i>
4.4	データのバックアップ	63
4.5	データの復元	63
4.6	郵便番号辞書更新	64
5	付録	65
5.1	困ったときは	65
	<i>起動できない</i>	<i>65</i>
	<i>ストリームからの読み込みエラーが発生する</i>	<i>66</i>
	<i>見積書を保存できない</i>	<i>66</i>
	<i>印刷できない (テンプレートファイルが見つからない)</i>	<i>66</i>
	<i>コード No を自動採番する方法</i>	<i>66</i>
	<i>各リストの呼出をキーボードで行いたい</i>	<i>66</i>
	<i>編集グリッドで行を追加する方法</i>	<i>66</i>
	<i>日付の入力でエラーが発生する</i>	<i>66</i>
	<i>表の並べ替えをしたい</i>	<i>67</i>
	<i>表の列幅を変更したい</i>	<i>67</i>

終了時の自動バックアップに失敗する.....	67
再インストールしたらデータが初期化されてしまった。.....	67
印刷すると画像に枠線が出力される.....	67
お問い合わせ先.....	67

1

はじめに

1.1 概要

「工事見積書 2」は建設業向けの階層型見積書作成ソフトです。必要に応じて何階層でも作成できますので、大規模の工事にも対応します。見積書は計算式付きのエクセルファイルに変換することができます。専用のエクセルファイルを使用すれば Andriod や iPhone などのスマートフォンでの編集も可能です。

1.2 主な機能

	工事見積書 2	工事見積書 Super2
見積書の作成・管理	○	○
請求書の作成・管理		○
入金の管理		○
注文書の作成・管理		○
実行予算の管理		○

1.3 インストール

インストールを開始する前に、他の起動しているアプリケーションを終了させます。その後、セットアッププログラムを実行してください。セットアッププログラムは以下のプログラムを自動的にインストールします。

- 工事見積書 2
- Firebird-1.5.6.5026-0-Win32 (データベース)

- ※ 管理者権限でログインした状態でインストールを行ってください。
- ※ 工事見積書 2 を動かすためにはデータベース Firebird が必要です。
- ※ 同梱してある Firebird のバージョンは 1.5.6 です。
- ※ InterBase もしくは Firebird1.0 以前または Firebird2.0 以降がインストールされている場合は他のパソコンにインストールしてください。
- ※ 以前に工事見積書 2 をインストールしていた場合、再インストールするとデータは初期化されます。
- ※ 工事見積書 2 と工事見積書 Super2 はインストール先が異なるので同一 PC にセットアップすることが可能です。

1.4 アンインストール

コントロールパネルのプログラムと機能から工事見積書 2 を選択し、アンインストールしてください。

Firebird をアンインストールする場合、プログラムの一覧から Firebird 1.5.6 を選択し、アンインストールしてください。

注意 Firebird を削除する場合は、必ず他のアプリケーションが Firebird を利用していないか確認してください。

他のアプリケーションが Firebird を使用している場合、Firebird をアンインストールするとそのアプリケーションが使用できなくなります。その場合 Firebird はアンインストールしないで、工事見積書 2 のみをアンインストールしてください。

注意 アンインストールしてもデータファイルは削除されません。データファイルを削除する場合は[Program Files]-[DANGBROS]にある[SEKISAN3]フォルダを削除してください。

1.5 動作環境

動作 OS	Microsoft Windows 10 / 8.1 / 8 / 7 / Vista / XP
ディスプレイ	本体に接続可能で動作 OS に対応したディスプレイ 解像度 1024×768 必須
ハードディスク	30MB 以上(データ領域は別途必要)
Excel	Excel 2007 以降 ※Excel がインストールされていなくても帳票の印刷は可能です。
プリンタ	動作 OS に対応したプリンタ
データベース	FireBird1.5.6 本製品のセットアップ時にインストールすることができます。

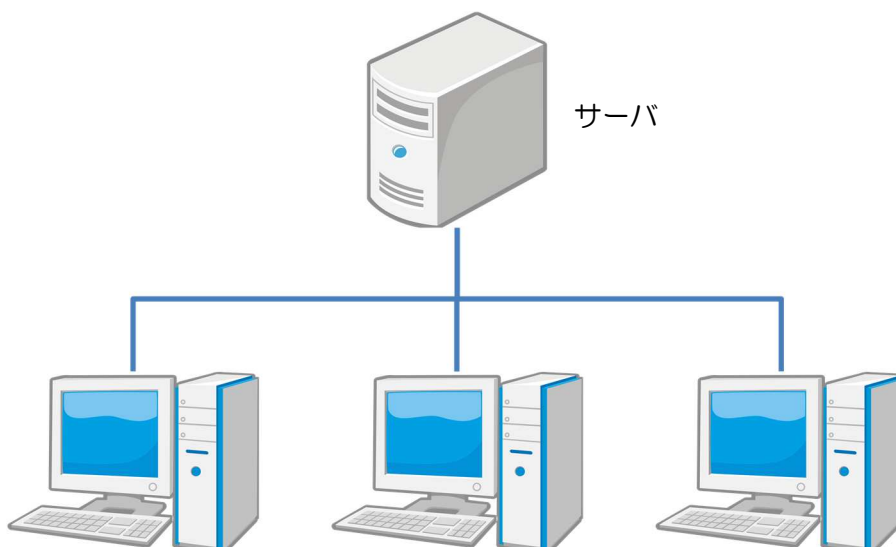
1.6 機能一覧

区 分	項 目	機 能
メニュー	見積 部材 書式 顧客 社員 自社情報	見積書を作成します。 部材を登録します。 書式を登録します。 顧客を登録します。 社員を登録します。 自社情報を登録します。
保守・環境	環境設定 データのバックアップ データの復元 郵便番号辞書更新 マニュアル	システムの動作設定をします。 データを別のファイルにバックアップします。 バックアップしたデータから復元します。 インターネットから郵便番号データを取得します。 本マニュアルを表示します。

1.7 クライアント/サーバシステムでの運用

本アプリケーションは複数台のパソコンで利用することができます。サーバにデータを置きクライアントからデータの編集を行えます。

注 クライアント/サーバシステムで運用する場合は使用する PC の台数分のライセンスが必要です。
意 NAS をサーバとすることはできません。



サーバの設定

1. 本アプリケーションをインストールします。
2. ファイアウォールが有効な場合は例外設定をします。
 - プロトコルで設定する場合
ポート：3050 プロトコル：TCP
の送受信を許可します。
 - プログラムで設定する場合
SEKISAN3.exe
(C:\Program Files\DANGOBROS\SEKISAN3\SEKISAN3.exe)
fbserver.exe
(C:\Program Files\Firebird\Firebird_1_5\bin\fbserver.exe)
gbak.exe
(C:\Program Files\Firebird\Firebird_1_5\bin\gbak.exe)
の送受信を許可します。
- ※Windows のファイアウォールの設定は下記マニュアルを参考にしてください。
<http://www.dangobros.com/firewall.pdf>
3. Windows がスリープやスタンバイに移行しないように電源の設定を行います。

クライアントの設定

1. 本アプリケーションをインストールします。
2. ファイアウォールが有効な場合は例外設定をします。

- プロトコルで設定する場合
ポート：3050 プロトコル：TCP
の送受信を許可します。
- プログラムで設定する場合
SEKISAN3.exe
(C:\Program Files\DANGOBROS\SEKISAN3\SEKISAN3.exe)
fbserver.exe
(C:\Program Files\Firebird\Firebird_1_5\bin\fbserver.exe)
gbak.exe
(C:\Program Files\Firebird\Firebird_1_5\bin\gbak.exe)
の送受信を許可します。

3. 本アプリケーションの環境設定を行います。

- 工事見積書 2 を起動し、「保守・環境」タブの「環境設定」をクリックします。
- 環境設定画面が表示されるので「サーバ(S)」タブをクリックします。
- サーバの指定方法を「IP アドレス」「コンピュータ名」どちらかを選択します。
- 指定方法で「コンピュータ名」を選択した場合、コンピュータ名欄にサーバのコンピュータ名を入力します。指定方法で「IP アドレス」を選択した場合、IP アドレス欄にサーバの IP アドレスを入力します。
- サーバの OS を「32bit」「64bit」どちらかを選択します。
- 「OK」をクリックし、本アプリケーションを再起動します。

4. 印刷用テンプレートファイルの保存場所を変更します。

- 帳票の印刷および Excel 出力は Excel ファイルのテンプレートを利用しています。
このテンプレートファイル一式をサーバの共有フォルダにコピーします。
コピーするファイル（フォルダ）
マイドキュメント\工事見積書 2\excel
「excel」フォルダをサーバの共有フォルダにコピーしてください。
- 次に テンプレートファイルのパスの設定を行います。
「マスタ」タブの「書式」をクリックすると書式の一覧画面が表示されます。
「フォルダ [F5]」をクリックしてサーバの共有フォルダにコピーした「excel」フォルダを選択します。

注 コンピュータ名に日本語が含まれる場合はサーバの指定方法を「IP アドレス」に
意 してください。日本語が含まれていると接続できません。

注 64bit 機でファイアウォールの例外設定をプログラムで指定する場合
意 C:\Program Files を C:\Program Files (x86)
と読み替えてください。

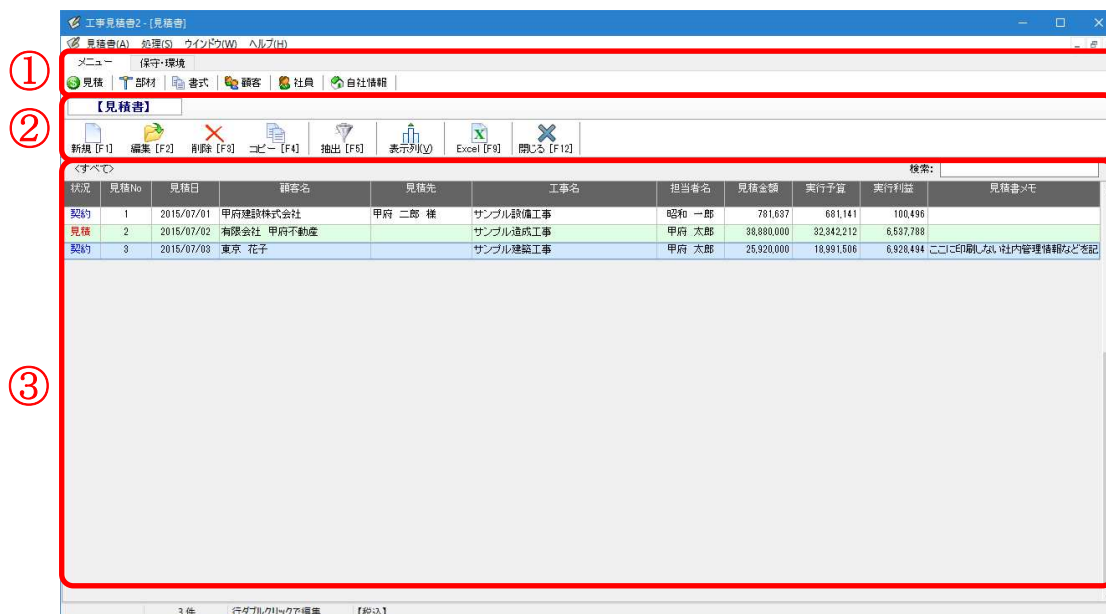
注 クライアントで見積書を編集中にサーバとの通信が切断され、データの登録が
意 出来なくなった場合は「ファイル」から「エクスポート」を行い、ソフトの再起動後
にエクスポートしたデータをインポートしてください。

1.8 基本的な操作方法

一覧画面

各画面は上部に使用するボタン、中央部にデータが表示されます。一覧画面は複数同時に開くことができます。

一覧画面 例：見積書



① 画面を切り替えるボタン

クリックすると選択した画面が表示されます。

② 一覧タイトルとデータを操作するボタン

一覧のタイトルが表示されます。ツールバーのボタンをクリックすると一覧データを操作する各機能を実行することができます。文字の右に書かれているキーを押しても実行できます。

例：新規 [F1] ならファンクションキーの「F1」を押します。

③ 一覧データ

行をダブルクリックするか「Enter」キーを押すとデータの編集画面が表示されます。右クリックして表示されるポップアップメニューから各機能を実行することも可能です。

列のタイトルをクリックすると昇順・降順でデータを並べ替えることができます。列のタイトルの境界をドラッグすると列幅が変更されます。

「Shift」キーまたは「Ctrl」キーを押しながら行をクリックすると複数の行を選択することができます。

また「Ctrl」＋「A」キーで表示しているすべての行を選択できます。

編集画面

一覧画面で「新規」または「編集」をクリックすると表示されるデータ編集画面です。

編集画面 例：顧客登録

顧客登録

コードNo	001	...
ふりがな	こうふけんせつ	
顧客名	甲府建設株式会社	御中
TEL	055-223-0003	
FAX	055-237-7833	
E-mail		
〒	400-0031	...
都道府県	山梨県	
市区町村	甲府市	
町域	丸の内	
番地	3-28-9	
ビル名等		
備考		

登録 [F11] 中止 [F12]

① 入力する項目

現在選択されている項目は黄色になります。「Enter」キーを押すと次の入力項目に移動します。グレーの項目は自動計算される項目ですので編集することはできません。入力欄に ボタンが表示されている項目は、ボタンをクリックするか「F4」キーを押すと項目により次の動作をします。

コード No： コードを自動採番します。
 〒 ： 住所検索画面を表示します。
 その他 ： 選択リストを表示します。

② 操作ボタン

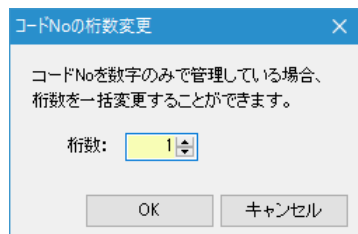
編集したデータを登録する場合は をクリックします。キャンセルする場合は をクリックします。

～コード No について～

コード No はマスタを呼び出すための記号となるものです。自由につけることができますが、ほかのコード No と重複する値は設定できません。マスタの種類によっては自動採番することもできます。

注意 コード No を数字のみで管理するは桁数を決めて空白部を 0 で満たしてください。
 例：コード No を 5 桁とする場合
 00024 というように 24 だけでなく 5 桁埋まるように 000 を追加します。
 アプリケーションではコード No を文字として認識しているので、例えば 1 の次の順番は 2 ではなく 10 だと判断してしまいます。桁数がそろって先頭に 0 がついていると正しい順番で表示されます。例：01 の次は 02
 コード No に数字以外の文字が含まれている場合自動採番はできません。

コード No の桁数を後からまとめて変換することができます。
各マスタの一覧画面でメニューからマスタの名称（例：部材）をクリックして「コード No の桁数変更」を選択します。
コード No の桁数変更画面が表示されます。

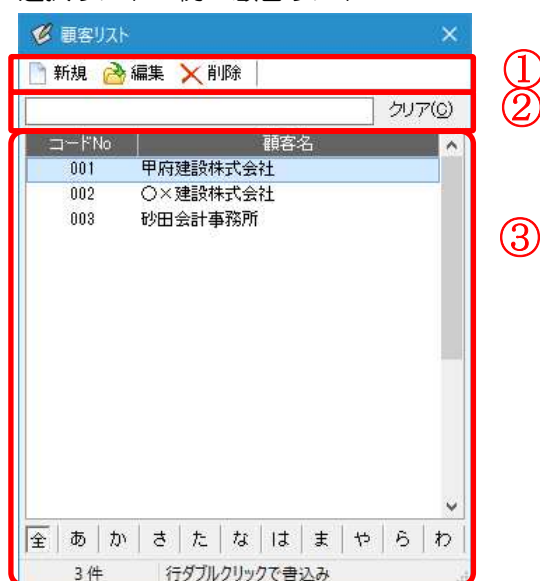


桁数を指定して「OK」をクリックすると、指定した桁数になるよう 0 で補完されます。

選択リスト画面

入力欄で ボタンが表示されている項目はボタンをクリックするか、「F4」キーを押すと選択リストが表示されます。

選択リスト 例：顧客リスト



① 操作ボタン

リストを操作するボタンです。一覧にないデータは をクリックすることで新たに作成することができます。

② 文字列フィルタ

テキストボックスに文字を入力すると、入力した文字を含むデータのみが表示されます。
(ショートカットキー：Ctrl+F)「クリア(C)」をクリックするとリストの絞り込みを解除します。

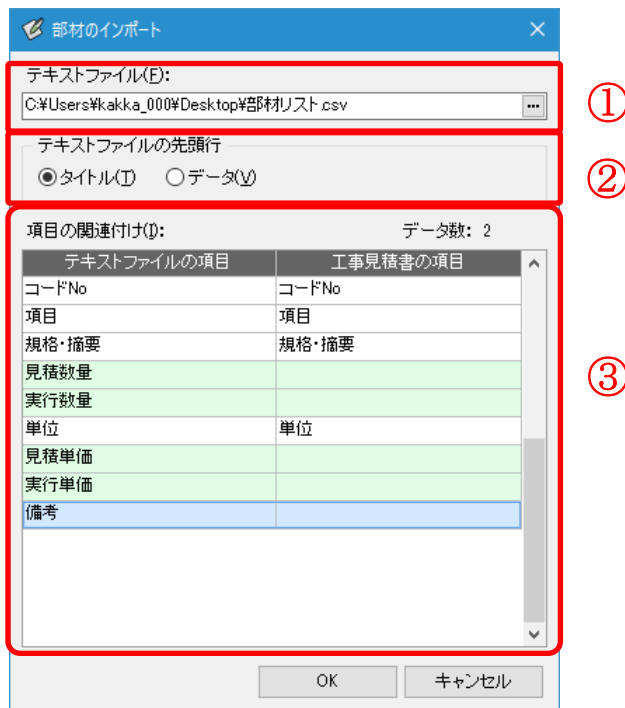
③ 選択リスト

ダブルクリックするか「Enter」キーを押すと選択リストを閉じてデータを書き込みます。「ESC」キーを押すとキャンセルして入力画面に戻ります。

ファイルのインポート画面

一覧画面で「ファイル」ボタンから「インポート」をクリックするとインポート画面が表示されます。

ファイルのインポート 例：部材のインポート



① 読み込むテキストファイルの選択

インポートするテキストファイルを選択します。
インポートできるのはフィールド（項目）をカンマ「，」で区切ったテキストファイル（CSV）です。

② テキストファイルの先頭行

テキストファイルの先頭行がタイトル行であるか、データ行であるかを選択します。
先頭行がタイトル行の場合、1行目はインポートされません。

③ 項目の関連付け

テキストファイルを選択するとテキストファイルの先頭行の項目が読み込まれ、項目の関連付けの欄に表示されます。

行をダブルクリックするとインポート先の項目がリストで表示されます。リストから関連付ける項目をダブルクリックで選択します。

関連付けを解除する場合は行を右クリックして表示されるポップアップメニューから「解除」を選択します。解除はキーボードの「DEL」キーを押すことでも可能です。


インポートする項目の関連付けが終わったら「OK」をクリックしてデータをインポートします。

2

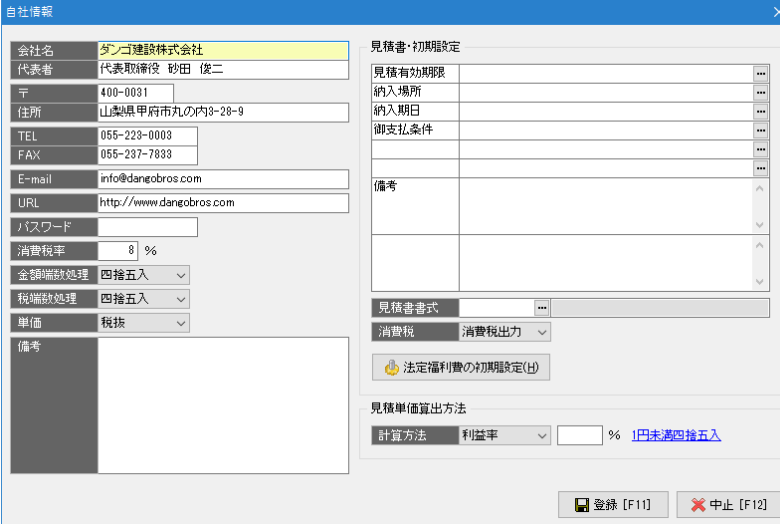
初期設定

初期設定を行います。

2.1 自社情報

自社の基本情報を登録します。「メニュー」タブの  **自社情報** をクリックします。自社情報の登録画面が表示されるので、各項目を入力します。

自社情報登録画面



基本情報

項目名	説明
会社名	会社名を入力します。見積書に出力されます。
代表者	代表者を入力します。見積書に出力されます。
〒	郵便番号を入力します。見積書に出力されます。
住所	会社住所を入力します。見積書に出力されます。
TEL	電話番号を入力します。見積書に出力されます。
FAX	ファックス番号を入力します。見積書に出力されます。
E-mail	E-mail アドレスを入力します。見積書に出力されます。
URL	ホームページアドレスを入力します。見積書に出力されます。
パスワード	本アプリケーションの起動パスワードです。 設定しなくてもかまいません。
消費税率	消費税率の初期値を入力します。 消費税率は書類ごとに変更することができます。
金額端数処理	数量×単価の小数点以下の端数処理の方法を選択します。 ※書類ごとに変更可能です。
税端数処理	消費税計算時の端数処理の方法を選択します。 ※書類ごとに変更可能です。
単価	単価が税抜か税込か選択します。

項目名	説明
	※書類ごとに変更可能です。
備考	備考欄です。

- 注** パスワードを設定した場合は忘れないように注意してください。
意 パスワードを忘れるとアプリケーションを起動できなくなります。

見積書・初期設定

項目名	説明
項目タイトル	見積書の表紙に出力する項目のタイトルを入力します。 ※見積書ごとに変更可能です。
項目	項目タイトルで設定した項目の初期値を入力します。 ※見積書ごとに変更可能です。
見積書書式	見積書の印刷に使用する書式を選択します。 ※見積書ごとに変更可能です。
消費税	見積書に消費税を出力するか別途表示にするか選択します。 ※見積書ごとに変更可能です。
見積単価計算方法	見積単価の算出方法を設定します。 利益率： 見積単価＝実行単価×100÷(100－率) 上乗せ率： 見積単価＝実行単価×(100＋率)÷100 ※見積書ごとに変更可能です。

「法定福利費の初期設定」ボタンをクリックすると設定画面が表示されます。

名称	加入比率 (%)	料率 (%)
健康保険料	100	4.955
介護保険料	53.5	0.825
厚生年金保険料	100	9.091
子ども・子育て拠出金	100	0.23
雇用保険料	100	0.8
労災保険料		

見積書に法定福利費を計上する場合は「法定福利費を計算する」にチェックを入れます。

労務費の算出方法

項目名	説明
積算	見積書の内訳で労務費区分に●がついているものの金額を集計
労務费率	労務费率を設定し、「工事金額」×「労務费率」で算出
入力	直接労務費を入力


$$\text{法定福利費} = [\text{うち労務費}] \times \text{加入比率} \div 100 \times \text{料率} \div 100$$

各保険料の料率は協会けんぽ等のウェブサイトでご確認ください。

編集したデータを登録する場合は をクリックします。キャンセルする場合は をクリックします。

2.2 社員

自社の担当者を登録します。
担当者を管理する必要がない場合は登録しなくても構いません。

「メニュー」タブの  **社員** をクリックします。
現在登録されている社員の一覧が表示されます。

社員一覧画面で使用するボタン


ボタン	対応キー	機 能
新規	F1	社員を新規登録します。
編集	F2	選択している社員を編集します。
削除	F3	選択している社員を削除します。
ファイル インポート エクスポート	Alt+F	テキストファイルからデータをインポートします。 テキストファイルにデータをエクスポートします。
Excel	F8	表示している一覧をエクセルに書き出します。
閉じる	F12	社員一覧画面を閉じます。

社員を追加する場合は「新規 [F1]」をクリックします。選択している社員を修正する場合は「編集 [F2]」をクリックします。

社員登録画面



社員の入力項目

項目名	説明
コード No	社員を呼び出すためのコード No を入力します。  をクリックすると自動採番することができます。
退職	チェックを入れると社員リストに表示されなくなります。
ふりがな	氏名のふりがなを入力します。
氏名	社員の氏名を入力します。
印鑑画像	担当者印の画像ファイルを指定します。

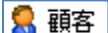
	設定可能なファイルの種類は以下の通りです。 bmp、gif、jpg、png 見積書、請求書、注文書に印刷可能です。 ※png は印刷プレビューでは透過されません。 Excel を利用して印刷する場合のみ印刷時に透過処理されます。
生年月日	社員の生年月日を入力します。
TEL	電話番号を入力します。 見積書、請求書、注文書に印刷可能です。
FAX	FAX 番号を入力します。
E-mail	メールアドレスを入力します。 見積書、請求書、注文書に印刷可能です。
住所	住所を入力します。
備考	備考欄です。

コード No はこの社員を呼び出すための記号となるものです。自由に入力することもできますし、自動採番することもできます。(重複不可)

編集したデータを登録する場合は  をクリックします。キャンセルする場合は  をクリックします。

2.3 顧客

見積書を作成する顧客を登録します。見積書の新規作成時に選択リストで追加登録することもできます。なお、顧客を登録しなくても見積書の作成は可能です。

「メニュー」タブの  をクリックします。
現在登録されている顧客の一覧が表示されます。

顧客一覧画面で使用するボタン

ボタン	対応キー	機能
新規	F1	顧客を新規登録します。
編集	F2	選択している顧客を編集します。
削除	F3	選択している顧客を削除します。
ファイル インポート エクスポート	Alt+F	テキストファイルからデータをインポートします。 テキストファイルにデータをエクスポートします。
Excel	F8	表示している一覧をエクセルに書き出します。
ラベル	F11	宛名ラベルを印刷します。
閉じる	F12	顧客一覧画面を閉じます。

顧客を追加する場合は「新規 [F1]」をクリックします。選択している顧客を修正する場合は「編集 [F2]」をクリックします。

顧客登録画面

顧客の入力項目

項目名	説明
コード No	顧客を呼び出すためのコード No を入力します。 ☰ をクリックすると自動採番することができます。
ふりがな	顧客名のふりがなを入力します。
顧客名	顧客名を入力します。
TEL	電話番号を入力します。
FAX	FAX 番号を入力します。
E-mail	メールアドレスを入力します。
住所	住所を入力します。
備考	備考欄です。

コード No はこの顧客を呼び出すための記号となるものです。自由に入力することもできますし、自動採番することもできます。(重複不可)

編集したデータを登録する場合は  をクリックします。キャンセルする場合は  をクリックします。

宛名ラベルの印刷

一覧画面で「ラベル」ボタンをクリックすると宛名ラベルの作成画面が表示されます。

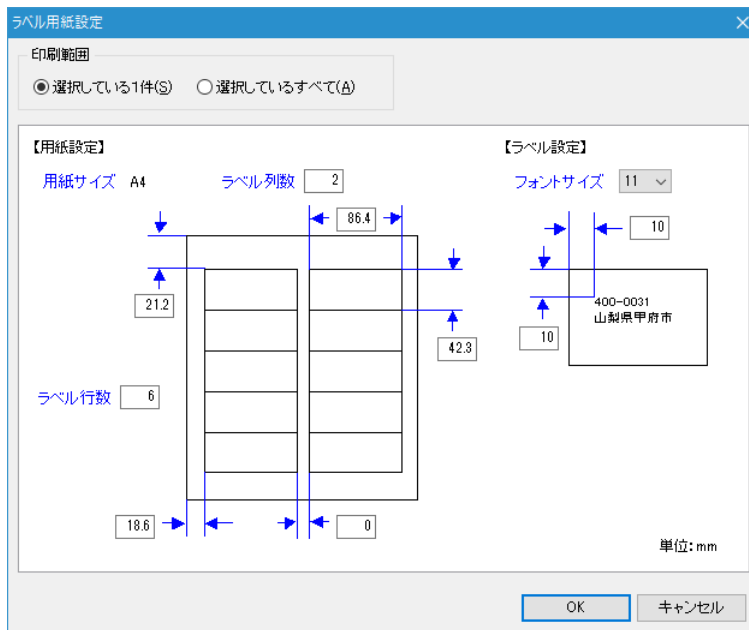
印刷範囲で「選択している 1 件」を選ぶと同じ顧客のラベルを用紙全体に出力します。

「選択しているすべて」を選ぶと顧客一覧で選択しているすべての顧客を出力します。

用紙設定、ラベル設定では印刷するラベル用紙のサイズに合わせて寸法を入力します。

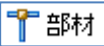
設定が終わったら「OK」をクリックすると宛名ラベルの印刷プレビューが表示されます。

宛名ラベル用紙設定画面



2.4 部材

見積書の作成に使用する部材を登録します。テキストファイルの外部データを取り込むこともできます。なお部材が1つも登録されていなくても見積書の作成は可能です。

「メニュー」タブの  **部材** をクリックします。
現在登録されている部材の一覧が表示されます。

部材一覧画面で使用するボタン

ボタン	対応キー	機能
新規	F1	部材を新規登録します。
編集	F2	選択している部材を編集します。
削除	F3	選択している部材を削除します。
コピー	F4	選択している部材をコピーして新規作成します。
ファイル インポート エクスポート	Alt+F	テキストファイルからデータをインポートします。 テキストファイルにデータをエクスポートします。
Excel	F8	表示している一覧をエクセルに書き出します。
閉じる	F12	部材一覧画面を閉じます。

部材および分類はドラッグ&ドロップで移動することができます。

部材を追加する場合は「新規 [F1]」をクリックします。選択している部材を修正する場合は「編集 [F2]」をクリックします。

部材登録画面

部材の入力項目

項目名	説明
コード No	部材を呼び出すためのコード No を入力します。 ☰ をクリックすると自動採番することができます。
分類	部材の分類を選択します。
項目	項目を入力します。
規格・摘要	規格・摘要を入力します。
見積数量	見積数量を入力します。
実行数量	実行数量を入力します。
定価・金額	定価を入力します。
見積単価・率	定価からの値引率をパーセントで入力します。
見積単価・金額	見積単価を入力します。定価と値引率が入力されている場合、自動計算されます。
実行単価・率	定価からの仕切率をパーセントで入力します。
実行単価・金額	実行単価を入力します。定価と仕切率が入力されている場合、自動計算されます。
備考	備考欄です。

見積書で部材を読み込むと、ここで登録した情報が転記されます。見積の都度異なるデータ（例：見積数量等）は空白にしておくで転記されません。

編集したデータを登録する場合は  をクリックします。キャンセルする場合は  をクリックします。

部材の分類の編集

一覧画面で画面左に表示されている部材の分類の編集を行います。部材の分類が表示されているツリーを右クリックするとポップアップメニューが表示されます。

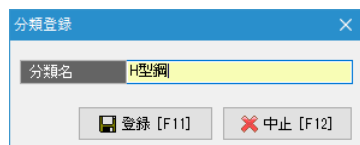
部材の分類のポップアップメニューで使用するボタン

ボタン	機能
新規	部材の分類を新規登録します。
編集	選択している分類を編集します。
削除	選択している分類とその部材を削除します。
インポート	テキストファイルからデータをインポートします。
上へ移動	選択している分類を上へ移動します。

下へ移動	選択している分類を下に移動します。
ツリーをすべて展開	ツリーを展開します。
ツリーを折りたたむ	ツリーを折りたたみます。

部材の分類を追加する場合は「新規」をクリックします。選択している分類を修正する場合は「編集」をクリックします。

分類登録画面



編集したデータを登録する場合は  をクリックします。キャンセルする場合は  をクリックします。

部材のインポート

部材を csv ファイル等からインポートする場合は「ファイル」から「インポート」を選択します。インポート画面が表示されますので、インポートするファイルと項目を選択します。「OK」をクリックすると部材データがインポートされます。

注 インポートするデータに分類がない場合、現在選択されている分類にインポートされます。


注 分類名が重複している場合、重複している分類のデータは最初に見つかった分類にすべてのデータがインポートされます。

注 インポート時に重複チェックは行われません。

注 インポート後に取り消すことはできませんので、事前にデータのバックアップを行い、もし意図した結果にならなかった場合はバックアップファイルでデータを復元してください。

2.5 書式

見積書の書式を登録します。書式はエクセルで編集します。

「メニュー」タブの  をクリックします。現在登録されている書式の一覧が表示されます。

書式一覧画面で使用するボタン

ボタン	対応キー	機能
新規	F1	書式を新規登録します。
編集	F2	選択している書式を編集します。

削除	F3	選択している書式を削除します。
コピー	F4	選択している書式をコピーして新規作成します。
ファイル インポート エクスポート	Alt+F	テキストファイルからデータをインポートします。 テキストファイルにデータをエクスポートします。
フォルダ	F5	表示している書式のテンプレートファイルの保存先を一括変更します。
Excel	F8	表示している一覧をエクセルに書き出します。
閉じる	F12	書式一覧画面を閉じます。

注 テンプレートファイルが見つからない場合、赤字で表示されます。
意 保存先を確認してください。

書式を追加する場合は「新規 [F1]」をクリックします。選択している書式を修正する場合は「編集 [F2]」をクリックします。

書式登録画面

書式の入力項目

項目名	説明
コード No	書式を呼び出すためのコード No を入力します。 ... をクリックすると自動採番することができます。
書式名	この書式の名称を入力します。

テンプレートファイル

エクセルの書式ファイルを選択します。

テンプレートは「消費税出力」「消費税別途」の2種類を使用します。

「消費税出力」では表紙に税込合計を出力します。

「消費税別途」では表紙に税抜合計を出力します。

「編集」ボタンをクリックするとテンプレートのエクセルファイルが表示されます。

注意 複数台の PC でテンプレートを共有する場合は共有フォルダを作成し、そのフォルダにテンプレートを置きます。このときアプリケーションとテンプレートが同一 PC にある場合でもネットワークから PC 名を指定したパスを入力してください。これはテンプレートのパスが他の PC の工事見積書 2 と共有されるためです。
 なお、他の PC で使用していた工事見積書 2 データを復元した場合もテンプレートのパスを修正する必要があります。

表紙シートにも内訳を印刷する

表紙のワークシートに内訳を印刷する場合チェックします。

内訳を改ページせず続けて印刷する

内訳を階層ごとに改ページせずに、連続して出力する場合チェックします。チェックをはずすと階層ごとに改ページされます。

「見出し(1)」ボタンをクリックすると見出し行の装飾の設定を行うことができます。

数量が 1 の単価も印刷する

チェックをはずすと数量が 1 の単価は印刷されず、合計金額のみが印刷されます。

実行予算のみの行も印刷する

チェックをはずすと実行予算のみの行は印刷されません。

入力したすべての行を印刷したい場合はチェックを入れてください。

見積書の編集画面でメニューから「表示」を選択し、「色・印刷」を選択すると印刷される行と印刷されない行が色分けされて表示されます。もとの表示に戻す場合は「色・標準」を選択します。

注意 チェックを外している場合、子階層に見積金額が入力されていない親階層も印刷されません。

セルに数式を埋め込む

チェックを入れるとセルに数式を埋め込みます。数式の設定されているセルの文字色は青になります。

注意 「うち非課税」「法定福利費」のセルには計算式は設定されません。

法定福利費の明細を内訳に印刷する

チェックを入れると法定福利費の明細を内訳ページに印刷します。

印刷する階層

印刷する階層を選択します。「隠し階層のみ」を選択した場合、表紙は印刷されません。

なお、請求書は隠し階層のみの出力はできません。

1 ページの内訳行数

1 ページに出力する内訳行数を入力します。Excel のフォーマットを確認して表紙ワークシート、内訳ワークシートのそれぞれの行数を入力します。

セルの表示書式

数量、単価の表示書式を設定します。小数点以下のデータが出力される場合がありますので、整数の場合と小数の場合のそれぞれの表示書式を設定します。

表示書式の設定方法につきましてはエクセルのヘルプを参照してください。

注 数量、単価の表示書式をエクセルのテンプレートファイルで設定しても
意 無視されます。

社員の印鑑画像

表紙に社員の印鑑画像を出力する場合の位置、サイズを指定します。

印鑑画像は「**IMAGE1」のセルに出力されます。

余白（左）は「**IMAGE1」のセルの左からの距離を mm（ミリメートル）で入力します。

余白（上）は「**IMAGE1」のセルの上端からの距離を mm（ミリメートル）で入力します。

サイズ（幅）は「**IMAGE1」のセルに出力する画像の大きさ（幅）を mm（ミリメートル）で入力します。

なお画像の高さは元になる画像ファイルの縦横比から自動計算されます。

編集したデータを登録する場合は  をクリックします。キャンセルする場合は  をクリックします。

テンプレートファイルの編集

エクセルのテンプレートファイルを編集するには書式の登録画面で「編集」ボタンをクリックします。

テンプレートファイルは「表紙」シートと「内訳」シートに分かれています。

フォントや罫線の変更、セルの結合などのエクセル操作で帳票のカスタマイズを行うことができます。セルや罫線の色を変更することも可能です。

シートには「**KOJI」など、先頭に「**」がついているセルがあり、そのセルにデータが書き込まれます。（変数と呼びます。）

変数がシート上にない場合は、その項目は出力されません。もし帳票に出力したくない項目がある場合はその変数をテンプレートから消してください。

また変数とは関係なく出力したい項目はテンプレートファイルに直接書き込んでおいてください。直接書き込んだ項目はそのまま出力されます。

会社のロゴマーク等の画像を挿入する場合は、エクセルの「挿入」から「画像」を選択します。なお挿入できる画像ファイルの形式は以下の通りです。

bmp, gif, jpg, png

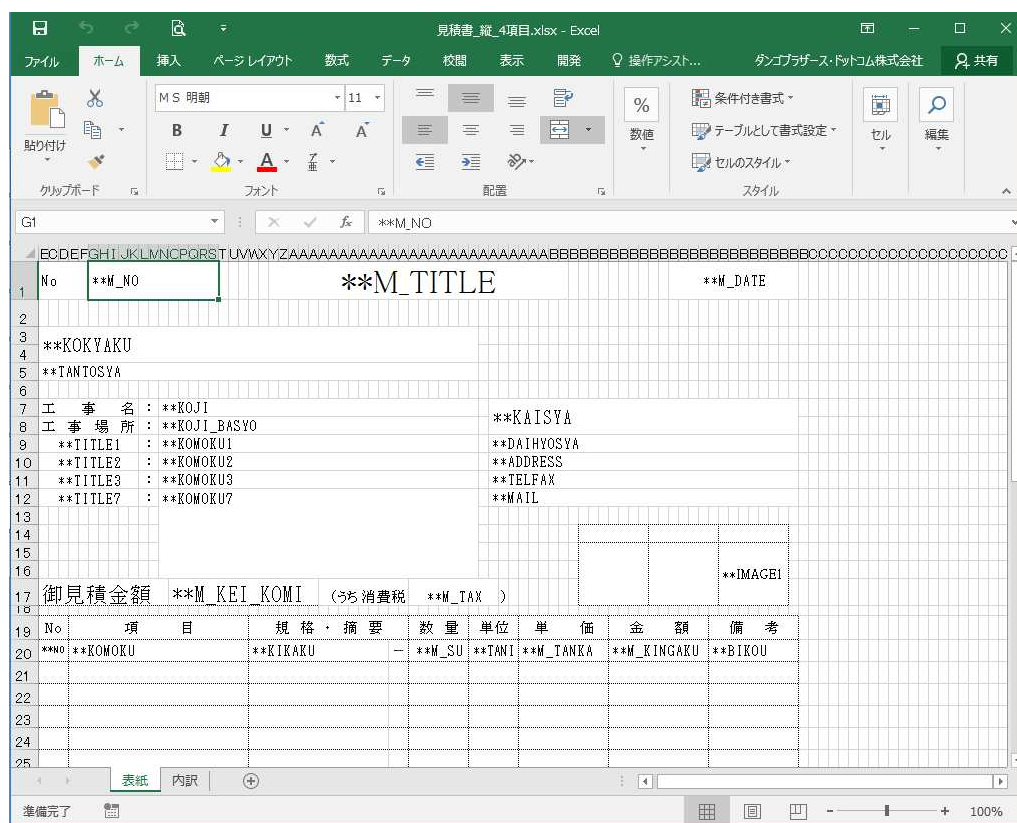
注 背景が透過処理されている GIF、PNG 形式の画像は「環境設定」の「Excel を
意 利用して印刷する」にチェックが入っている場合のみ印刷時に透過されます。

なお、PNG の透過はプレビューでは黒く表示されます。

Excel に書き出した場合は設定に関係なく透過処理されます。

内訳の出力は変数のある行を先頭に「書式の登録」の「1 ページの内訳の行数」だけ連続して出力されます。

テンプレートファイル



注意 テンプレートのエクセルファイルは Excel2007 以降の形式 (*.xlsx) で保存してください。
「Excel 97-2003 ブック (*.xls)」の形式には対応していません。

注意 ワークシート名の「表紙」と「内訳」は変更しないでください。データが出力できなくなります。また、ワークシートを追加しても、アプリケーションからエクセルファイルを作成する際に削除されます。

注意 「内訳」ワークシートの「A」列は管理用の列です。削除しないでください。

注意 明細は 1 レコードを 1 行で出力します。1 レコードを複数行に出力することはできません。

注意 「内訳」ワークシートは見出しの次の行をコピーして必要な行数分作成します。このため罫線は見出しの次の行と同じになります。ただし、Excel に書き出さず直接印刷する場合はもとの書式が維持されます。

注意 「内訳」ワークシートの明細部分に変数や値を設定してもアプリケーション実行時に削除されます。

注意 直接印刷する場合、出力結果が Excel で行ったものと比べて、若干大きさが異なります。

注意 白黒印刷の設定はワークシートごとに「ページ設定」の「シート」タブにある「白黒印刷」のチェックで行ってください。

注 関数が設定されているセルの文字色はアプリケーションの「環境設定」の「書式」タブにある「計算式の文字色」で変更することができます。(青または黒)

見積書の変数

表紙項目の変数

変数名	データ	表紙	内訳
**M_NO	見積 No	○	○
**M_DATE	見積日	○	○
**M_TITLE	見積書のタイトル	○	
**JYOKYO	状況	○	
**K_YUBIN	〒+郵便番号	○	
**K_ADDRESS1	都道府県	○	
**K_ADDRESS2	市区町村	○	
**K_ADDRESS3	町域	○	
**K_ADDRESS4	番地	○	
**K_ADDRESS5	ビル名等	○	
**K_ADDRESS12	都道府県+市区町村	○	
**K_ADDRESS123	都道府県+市区町村+町域	○	
**K_ADDRESS1234	都道府県+市区町村+町域+番地	○	
**K_ADDRESS12345	都道府県+市区町村+町域+番地+ビル名等	○	
**K_ADDRESS2345	市区町村+町域+番地+ビル名等	○	
**K_ADDRESS345	町域+番地+ビル名等	○	
**K_ADDRESS45	番地+ビル名等	○	
**K_TEL	TEL	○	
**K_FAX	FAX	○	
**KOKYAKU	顧客名	○	○
**TANTOSYA	顧客の担当者(見積先)	○	
**KOJI	工事名	○	○
**KOJI_BASYO	工事場所	○	
**TITLE1	項目タイトル1	○	
**KOMOKU1	項目1	○	
**TITLE2	項目タイトル2	○	
**KOMOKU2	項目2	○	
**TITLE3	項目タイトル3	○	
**KOMOKU3	項目3	○	
**TITLE4	項目タイトル4	○	
**KOMOKU4	項目4	○	
**TITLE5	項目タイトル5	○	
**KOMOKU5	項目5	○	
**TITLE6	項目タイトル6	○	
**KOMOKU6	項目6	○	
**TITLE7	項目タイトル7	○	
**KOMOKU7	項目7	○	
**TITLE8	項目タイトル8	○	
**KOMOKU8	項目8	○	

変数名	データ	表紙	内訳
**KAISYA	会社名	○	○
**DAIHYOSYA	代表者	○	
**YUBIN	〒+自社の郵便番号	○	
**YUBIN1	自社の郵便番号	○	
**ADDRESS	〒+自社の郵便番号+住所	○	
**ADDRESS1	自社の住所	○	
**TELFAX	TEL+自社の TEL FAX+自社の FAX	○	
**TEL	TEL+自社の TEL	○	
**TEL1	自社の TEL	○	
**FAX	FAX+自社の FAX	○	
**FAX1	自社の FAX	○	
**URL	自社の URL	○	
**MAIL	E-mail+自社のメールアドレス	○	
**MAIL1	自社のメールアドレス	○	
**SYAIN	自社の担当者	○	
**SYAIN_TEL	担当者の TEL	○	
**SYAIN_MAIL	担当者のメールアドレス	○	
**IMAGE1	担当者の印鑑画像	○	
**MEMO	メモ欄	○	
**M_KOJI_KEI	見積工事金額	○	
**Y_KOJI_KEI	実行工事金額	○	
**KOJI_KEI_RIEKI	工事金額の粗利益	○	
**KOJI_KEI_RIEKI_RITSU	工事金額の利益率	○	
**ROUMUHI_RITSU	労務費率	○	
**M_ROUMUHI	見積労務費	○	
**Y_ROUMUHI	実行労務費	○	
**KENPO_K_RITSU	健康保険加入比率	○	
**KAIGO_K_RITSU	介護保険加入比率	○	
**KOSEI_K_RITSU	厚生年金保険加入比率	○	
**JIDO_K_RITSU	子ども・子育て拠出金加入比率	○	
**KOYO_K_RITSU	雇用保険加入比率	○	
**ROSAI_K_RITSU	労災保険加入比率	○	
**KENPO_RITSU	健康保険料率	○	
**KAIGO_RITSU	介護保険料率	○	
**KOSEI_RITSU	厚生年金保険料率	○	
**JIDO_RITSU	子ども・子育て拠出金率	○	
**KOYO_RITSU	雇用保険料率	○	
**ROSAI_RITSU	労災保険料率	○	
**M_H_FUKURIHI_KENPO	見積健康保険料	○	
**M_H_FUKURIHI_KAIGO	見積介護保険料	○	
**M_H_FUKURIHI_KOSEI	見積厚生年金保険料	○	
**M_H_FUKURIHI_JIDO	見積子ども・子育て拠出金	○	
**M_H_FUKURIHI_KOYO	見積雇用保険料	○	
**M_H_FUKURIHI_ROSAI	見積労災保険料	○	
**M_H_FUKURIHI	見積法定福利費	○	
**Y_H_FUKURIHI_KENPO	実行健康保険料	○	

変数名	データ	表紙	内訳
**Y_H_FUKURIHI_KAIGO	実行介護保険料	○	
**Y_H_FUKURIHI_KOSEI	実行厚生年金保険料	○	
**Y_H_FUKURIHI_JIDO	実行子ども・子育て拠出金	○	
**Y_H_FUKURIHI_KOYO	実行雇用保険料	○	
**Y_H_FUKURIHI_ROSAI	実行労災保険料	○	
**Y_H_FUKURIHI	実行法定福利費	○	
**M_KEI	税抜見積金額	○	
**Y_KEI	税抜実行予算金額	○	
**KEI_RIEKI	税抜粗利益	○	
**KEI_RIEKI_RITSU	税抜利益率	○	
**M_TAX	見積金額の消費税額	○	
**Y_TAX	実行予算の消費税額	○	
**M_AF_NEBIKI	税後値引き金額	○	
**M_KEI_KOMI	税込見積合計金額	○	
**Y_KEI_KOMI	税込実行予算合計金額	○	
**KEI_KOMI_RIEKI	税込粗利益	○	
**KEI_KOMI_RIEKI_RITSU	税込利益率	○	

内訳項目の変数

変数名	データ
**NO	No
**KOMOKU	項目
**KIKAKU	規格・摘要
**TAX_FLG	消費税区分
**M_SU	見積数量
**Y_SU	実行数量
**TANI	単位
**TEIKA	定価
**NEBIKI_RITSU	値引率
**SHIKIRI_RITSU	仕切率
**M_TANKA	見積単価
**Y_TANKA	実行単価
**M_KINGAKU	見積金額
**Y_KINGAKU	実行金額
**RIKEI	粗利益
**RIEKI_RITSU	利益率
**BIKOU	備考
**ROUMUHI_FLG	労務費区分

旧バージョンのテンプレートファイルとの違い

旧バージョンと新バージョンの工事見積書2ではテンプレートファイルの様式が異なります。

変更点

項目	旧バージョン	新バージョン
ファイル拡張子	.xls	.xlsx
内訳ワークシート	変数は不要 書式マスタで出力項目を設定	変数が必要 書式マスタでは設定不要
消費税出力・別途	1つのテンプレートファイルで対応 出力の可否は書式マスタで設定	別々のテンプレートファイルを使用 出力の可否は見積書ごとに指定
画像の挿入	「オブジェクト」から挿入	「画像」から挿入
対応する画像	bmpのみ	bmp,jpg,gif,png
表紙の項目	固定項目	項目を設定可能

旧バージョンのテンプレートファイルを新バージョンで利用する場合は次の手順で変更を行ってください。

1. 「内訳」ワークシートに出力する項目の変数を設定する。
2. 「表紙」ワークシートで変更になった項目の変数を設定する。(見積有効期限、消費税等)
3. ファイル形式を.xlsx で保存する。

注 意 見積書で
 ・税込合計を出力する場合
 ・消費税別途にする場合
 を使い分ける場合はそれぞれの書式を別ファイルで作成してください。



注 意 見積書で消費税別途を選択した場合、表紙に消費税および税込金額を印刷することはできません。

3

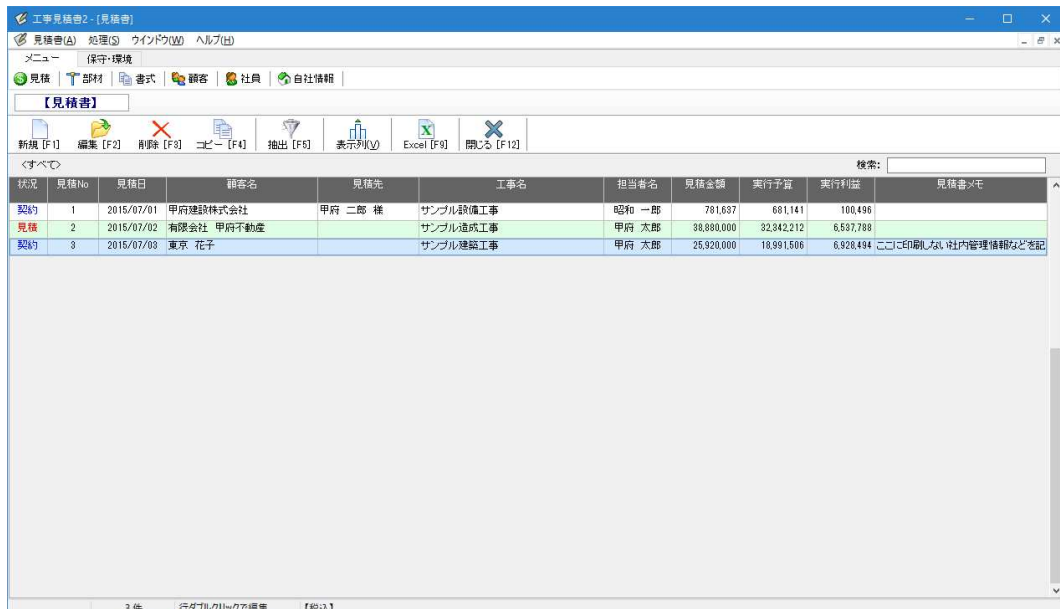
見積書

見積書を作成します。

3.1 見積書の一覧

見積一覧が表示されていない場合はメニューの  をクリックします。
作成済みの見積書の一覧が表示されます。
起動時に抽出条件を表示する設定になっている場合は、見積書の抽出条件画面が表示されますので、条件を指定して  をクリックします。

見積一覧画面



状況	見積No	見積日	顧客名	見積先	工事名	担当者名	見積金額	実行予算	実行利益	見積書メモ
契約	1	2015/07/01	甲府建設株式会社	甲府 二郎 様	サンプル設備工事	昭和 一郎	781,637	681,141	100,496	
見積	2	2015/07/02	有限会社 甲府不動産		サンプル造成工事	甲府 次郎	38,880,000	32,842,212	6,537,788	
契約	3	2015/07/03	東京 花子		サンプル建築工事	甲府 太郎	25,920,000	18,991,506	6,928,494	ここに印刷しない社内管理情報などを記

見積一覧画面で使用するボタン

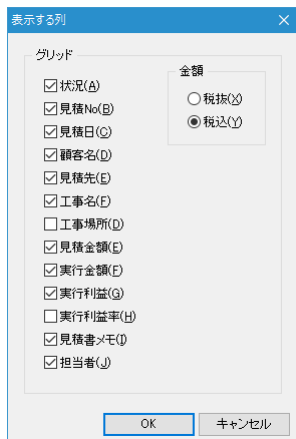
ボタン	対応キー	機能
新規	F1	見積書を新規作成します。
編集	F2	選択している見積書を編集します。
削除	F3	選択している見積書を削除します。
コピー	F4	選択している見積書をコピーして新規作成します。
抽出	F5	表示する見積書を絞り込みます。
表示列	Alt+V	列の表示を切り替えます。
Excel	F9	表示している一覧をエクセルに書き出します。
閉じる	F12	見積一覧画面を閉じます。

表示する列の設定

表示する列を選択することができます。

ツールバーの  をクリックします。

表示する列の設定画面が表示されます。



表示する列

グラフ

- 状況(A)
- 見積No(B)
- 見積日(C)
- 顧客名(D)
- 見積先(E)
- 工事名(F)
- 工事場所(G)
- 見積金額(H)
- 実行金額(I)
- 実行利益(G)
- 実行利益率(H)
- 見積書メモ(I)
- 担当者(J)

金額

- 税抜(K)
- 税込(L)

OK キャンセル


表示する列にチェックを入れます。
また金額の表示を「税抜」か「税込」かを選択します。

見積書の抽出

一覧に表示する見積書を抽出することができます。作成した見積書が増えてきた場合に利用します。

ツールバーの  をクリックします。

見積書の抽出条件が表示されます。



見積書抽出条件

表示する見積書を絞り込む条件を指定してください。 起動時に表示(O)

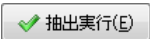
表紙

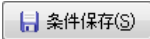
- 状況
- 見積No
- 見積日 ~
- 顧客名
- 見積先
- 工事名
- 工事場所
- 担当者
- メモ

内訳

- 項目
- 規格・摘要
- 備考

条件保存(S) 抽出実行(E) キャンセル

抽出に使用する項目にチェックし、条件を入力します。
条件を指定したら  をクリックします。

入力した条件を保存する場合は  をクリックします。条件を保存しておくとか

回の抽出時に自動的に保存した条件が設定されます。

また「起動時に表示 (I)」にチェックをしておくと、見積書の一覧表示時に抽出条件が自動的に表示されるようになります。
条件保存と合わせて利用することでアプリケーション起動時に表示する見積書を簡単に絞り込むことが可能です。

選択した条件は一覧画面に表示されます。

見積書のクイック検索

文字列を入力して見積書を検索することができます。
キーボードの「Ctrl」キーを押しながら「F」キーを押すと検索ボックスにフォーカスが移動します。見積書の項目に含まれる文字列を入力すると条件に一致した見積書が表示されます。絞り込みを解除する場合は検索ボックスをクリアします。

～検索対象について～

以下の項目の文字列を検索します。

- ・状況 ・見積 No ・顧客名 ・敬称 ・見積先 ・郵便番号 ・住所 ・TEL ・FAX
- ・工事名 ・工事場所 ・見積書メモ ・実行予算メモ ・社員名

見積書の新規作成

① 見積書を白紙から作成する場合

見積一覧のツールバーの  をクリックします。

② 選択している見積書をコピーして作成する場合

見積一覧のツールバーの  をクリックします。


見積書のひな形を作成しておき、コピーして利用すると見積書作成の負担が軽減されます。ひな形はいくつでも登録できるので活用してください。

3.2 見積書画面のメニュー

見積書画面で使用する機能の一覧です。

区分	メニュー	機能
ファイル	自動保存	自動保存の動作を切り替えます。
	保存	見積書を保存します。
	サーバ接続確認	クライアント・サーバシステムで運用している場合に

区分	メニュー	機能
		サーバとの通信が確立されているか確認します。 切断されている場合は再接続を行います。
	PC インポート エクスポート	エクスポートしたテキストファイルを読み込みます。 テキストファイルヘータを書き出します。
	モバイル インポート エクスポート	スマートフォン用エクセルファイルを読み込みます。 エクセルファイルヘータを書き出します。
	書出し PDF ファイル Excel ファイル	帳票の PDF ファイルを作成します。 帳票のエクセルファイルを作成します。
	印刷	帳票の印刷プレビューを表示します。
	法定福利費の設定	法定福利費の計算方法の設定を行います。
	計算方法の設定	以下の設定を行います。 単価(税込・税抜) 金額の端数処理 消費税の端数処理
	プロパティ	情報画面を表示します。
	閉じる	見積書の編集を終了します。
編集	元に戻す	直前の操作を行単位で元に戻します。
	住所	顧客の住所を入力します。
	項目タイトルの編集	表紙に出力する項目のタイトルを編集します。 自社情報のデータが初期設定として転記されます。
	行の挿入	選択している行の上に行を挿入します。
	行の追加	最終行の下に行を追加します。
	行の削除	選択している行を削除します。 複数行を一括削除する場合はツリーで「Ctrl」キーまたは「Shift」キーを押しながら項目を選択します。
	計の追加 諸経費 小計 合計	選択している行の下に諸経費行を挿入します。 選択している行の下に小計行を挿入します。 同階層の一番下に合計行を追加します。
	見積書から内訳を読み込み	他の見積書から内訳を選択して読み込みます。
	行の切り取り	選択している行を切り取ります。 複数行を切り取る場合はツリーで「Ctrl」キーまたは「Shift」キーを押しながら項目を選択します。
	行のコピー	選択している行をコピーします。 複数行を一括コピーする場合はツリーで「Ctrl」キーまたは「Shift」キーを押しながら項目を選択します。
	コピーした行の貼り付け	コピーした行を貼り付けます。 ※複数行を一括コピーした場合は実行できません。
	コピーした行の挿入	コピーした行を選択している行の上に挿入します。
	クリップボードへ行をコピー	選択している行をクリップボードへコピーします。 複数行を一括コピーする場合はツリーで「Ctrl」キーまたは「Shift」キーを押しながら項目を選択します。
	クリップボードから貼り付け	クリップボードにコピーしたデータを貼り付けます。 Excel 等で範囲を選択してコピーした場合、まとめて

区分	メニュー	機 能
		貼り付けることができます。
	行を上へ移動	選択している行を上へ移動します。
	行を下へ移動	選択している行を下へ移動します。
	履歴の検索	選択している項目を他の見積書から検索します。
	検索	内訳の文字検索を行います。
	行の設定	行の設定を行います。
	マスタリスト・電卓	選択している項目に  ボタンが表示される場合、マスタリストまたは電卓を表示します。
	部材リスト	部材リストを表示します。
	部材マスタへ登録	選択している行を部材マスタへ登録します。
	一括設定 No 数量 単価	Noを一括設定する画面を表示します。 数量を一括設定する画面を表示します。 単価を一括設定する画面を表示します。
	複写	直上のセルのデータをコピーして書き込みます。
移動	表紙	表紙の入力画面に切り替えます。
	内訳	内訳の入力画面に切り替えます。
	上位の階層	上位の階層に移動します。
	下位の階層	下位の階層に移動します。 下位の階層が存在しない場合は新規に作成します。 表紙でクリックすると見積内訳に移動します。
	前の内訳	同一レベルの前の内訳へ移動します。
	次の内訳	同一レベルの次の内訳へ移動します。
表示	表示項目の設定	内訳のツリー、グリッドに表示する項目を設定します。
	色・標準	内訳の行を標準の色で表示します。 色の設定は「環境設定」で行います。
	色・印刷	内訳の印刷しない行に色を付けます。
	ツリー	ツリーの表示・非表示を切り替えます。
	値引・合計	値引・合計欄の表示・非表示を切り替えます。
	ツリーをすべて展開	ツリーをすべて展開して表示します。
	ツリーを折りたたむ	ツリーの項目をすべて折りたたみます。
ヘルプ	マニュアル	PDF ファイルのマニュアルを表示します。
	ホームページ	ホームページを表示します。

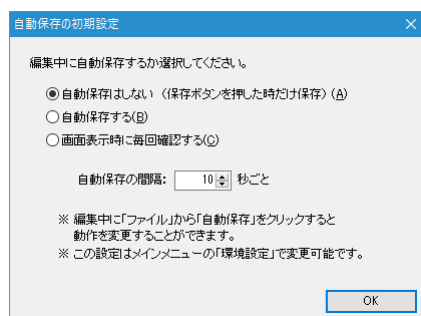
見積書画面で使用するボタン

ボタン	対応キー	機 能
保存	Ctrl+S	見積書を保存します。
元に戻す	Ctrl+Z	直前の操作を行単位で元に戻します。
上の階層	Alt+U	上位の階層に移動します。 1階層目でクリックすると表紙に移動します。
下の階層	Alt+D	下位の階層に移動します。 下位の階層が存在しない場合は新規に作成します。 表紙でクリックすると見積内訳に移動します。
挿入	F1	選択している行の上に行を挿入します。
削除	F3	選択している行を削除します。 複数行を一括削除する場合はツリーで「Ctrl」キーまたは

		「Shift」キーを押しながら項目を選択します。
計 諸経費 小計 合計	F5	選択している行の下に諸経費行を挿入します。 選択している行の下に小計行を挿入します。 同階層の一番下に合計行を追加します。
内訳読込	Alt+R	他の見積書から内訳を読み込みます。
部材	F6	部材マスタを表示します。
一括 No 数量 単価	F7	Noを一括設定します。 数量を一括設定します。 単価を一括設定します。
書出し PDF ファイル Excel ファイル	F9	帳票の PDF ファイルを作成します。(要エクセル) 帳票のエクセルファイルを作成します。
印刷	F11	帳票の印刷プレビューを表示します。
閉じる	Alt+C	見積書の編集を終了します。

3.3 自動保存の初期設定を行う

はじめて見積書を作成するときは、見積書の自動保存についての設定画面が表示されます。



編集中の見積書を自動保存するかどうかの初期設定を行います。

「自動保存はしない」を選択すると、自分で「保存」ボタンをクリックしないかぎりデータはハードディスクに保存されません。

「自動保存する」を選択すると、「自動保存の間隔」ごとにハードディスクに上書き保存します。

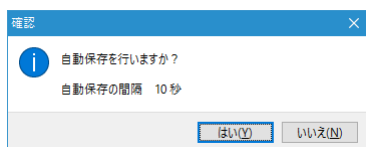
「見積書表示時に毎回確認する」を選択すると、見積書画面が表示されたときに毎回、自動保存をするかの確認ダイアログが表示されます。

「OK」をクリックすると設定が保存されます。

～初期設定について～

ここで選択した初期値はメインメニューの「環境設定」で変更することができます。

「見積書を表示時に毎回確認する」を選択した場合、次の画面が表示されます。



自動保存をする場合は「はい」を、自動保存しない場合は「いいえ」をクリックします。
自動保存モードの場合はステータスバーに「自動保存モード」と表示されます。



注意 自動保存は設定した間隔ごとに行われますが、タイミングによりスキップする場合があります。

- ・ 変更がない場合
- ・ 表紙、内訳を入力中の場合
- ・ 一括設定や印刷など他の画面がアクティブになっている場合

※保存時刻はステータスバーを確認してください。







3.4 表紙を作成する

見積書の表紙を作成します。

見積書画面（表紙）

表紙の入力項目


項目名	説明
No	見積書の No を入力します。 自動的に他の見積書の No の最大値に+1した No が入力されます。 ただし数字以外のデータが含まれている場合は空白となります。
タイトル	見積書のタイトルを入力します。

項目名	説明
見積日	見積日を入力します。自動的に今日の日付が入力されます。  をクリックしてカレンダーから選択することもできます。
状況	この見積書の状況を入力します。 直接入力するか  をクリックして状況リストから選択します。
住所	 をクリックして顧客の住所を入力します。
顧客名	顧客名を入力します。 直接入力するか  をクリックして顧客のリストから選択します。
見積先	見積先を入力します。
TEL	顧客の電話番号を入力します。
FAX	顧客のファックス番号を入力します。
工事名	工事名を入力します。
工事場所	工事場所を入力します。
項目タイトル	自社情報から初期値が設定されます。  をクリックするとタイトルを編集することができます。
項目	自社情報から初期値が設定されます。
見積書書式	印刷に使用する書式を選択します。 自社情報の初期値が設定されます。
担当者	担当者のコード No を入力します。 直接入力するか  をクリックして社員のリストから選択します。
印鑑画像	担当者マスタで印鑑画像が設定されている場合表示されます。 表示される欄は3つある枠の一番右のみです。
消費税率	この見積書の消費税率を入力します。
消費税出力	見積書に消費税を出力するか選択します。 消費税出力にすると内訳に消費税、税込合計が出力されます。 消費税別途にすると内訳には税抜合計までが出力されます。 表紙への出力は設定されている変数により変わります。
メモ	コメント欄です。

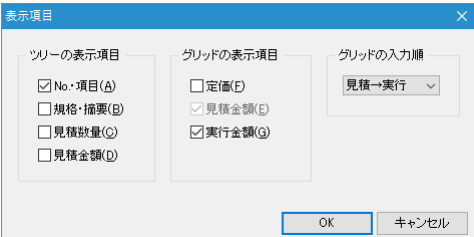
表紙の作成が終わったら、内訳の作成を行います。

3.5 内訳を作成する

見積書の内訳の作成を行います。

ツールバーの  をクリックすると見積書の内訳画面が表示されます。

初めて入力する時は表示項目の設定画面が表示されます。



ツリーとグリッドに表示する項目を選択します。

入力しない項目はグリッドの表示項目でチェックをはずしてください。

グリッドの入力順は「見積→実行」「実行→見積」が選択できます。

利益率や上乗せ率を設定して実行単価から見積単価を自動計算させる場合は「実行→見積」の順がおすすです。

この表示項目の設定画面はメニューの「表示」から「表示項目の設定」でいつでも呼び出すことができます。

見積書画面（内訳）

No.	項目	規格・摘要	見積数量	実行数量	単位	見積単価	実行単価	見積金額	実行金額	利益率	粗利益	備考	表示	非表示
	給水設備工事		1	1	式			101,000	87,000	13.9	14,000			
	給湯設備工事		1	1	式			43,000	36,000	16.3	7,000			
	排水設備工事		1	1	式			395,000	324,000	18.0	71,000			
	衛生器具設備工事		1	1	式			113,000	93,000	17.7	20,000			
	現場雑費		1	1	式			140,000	127,000	9.3	13,000			
	衛生器具設備工事		1	1	式			8,000	7,000		1,000			
	給水管引込工事		1	1	式			80,000	66,000		14,000			
	現場雑費		1	1	式			-130,000	-130,000		0			
	上、下水道申請費を含む		1	1	式			80,000	66,000		14,000			
	値引き		1	1	式			-130,000	-130,000		0			
	※ 別途費用													
	水道利用加入金	136,500円												
	設計審査手数料・竣工検査手数料	8,700円												

	見積金額	実行金額	利益率	粗利益	備考	税率
〔値引〕	-50,000				特別引引き	
〔工事計〕	700,000	610,000	13	90,000		
〔うち労務費〕	154,000	134,200				
〔法定福利費〕	23,738	20,686				
〔合計〕	723,738	630,686	12.9	93,052		
〔うち非課税〕	0	0				
〔消費税〕	57,899	50,455				8
〔税込み合計〕	781,637	681,141	12.9	100,496		

① 階層ツリー

内訳の階層構造をツリー表示します。クリックすると選択した階層のデータが編集グリッドに表示されます。メニューの「表示」で表示・非表示を切り替えられます。行の削除やコピーなどで複数の項目を選択する場合は「Ctrl」キーを押しながら個別に項目をクリックする方法と「Shift」キーを押しながら範囲の終わりの項目をクリックする方法を利用します。また右クリックでポップアップメニューを表示します。

② 編集グリッド

データを編集するグリッドです。同一階層のデータが一覧表示されます。親階層の項目名は編集グリッドの左上に表示されます。

編集はセルを選択して行います。[...] ボタンが表示されるセルはボタンをクリックすると選択リストが表示されます。キーボードの「F4」キーを押してもリストが表示されます。リストから選択するか直接入力してください。

青い文字のセルは自動計算されるセルです。入力することはできません。



また、セルを右クリックするとポップアップメニューが表示されます。

③ 利益率（上乗せ率）

実行単価から見積単価を自動計算させる場合に入力します。自動計算させない場合は空白にします。なお、入力済みの見積単価は率や実行単価を変更しても再計算されません。自動計算されるのは実行単価を入力したときに見積単価が空白の場合です。[] をクリックすると選択している行の見積単価を再計算します。

利益率： 見積単価＝実行単価 × 100 ÷ (100－率)
 上乗せ率： 見積単価＝実行単価 × (100＋率) ÷ 100

④ 値引・合計

見積内訳の総合計と値引き入力項目です。メニューの「表示」で表示・非表示を切り替えられます。 をクリックすると法定福利費の設定画面が表示されます。 をクリックすると税込合計金額から値引金額を逆算する設定画面が表示されます。

階層や内訳の移動などにはキーボードにショートカットキーが設定されています。編集グリッドやツリーを右クリックして表示されるポップアップメニューにキーの割り当てが表示されますので参考にして活用してください。



見積内訳の階層を作成します。編集グリッドをクリックして各項目を入力します。行を追加する場合は「Shitf」キーを押しながら「F1」キーを押すか、最終行でカーソルキーの「↓」を押します。

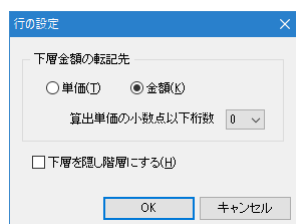
2階層目を作成する場合は行を選択して  をクリックします。

下階層を作成するか確認する画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。

次に下階層の見積金額、実行金額を親階層のどの項目に転記するかを選択する画面が表示されますので、用途に合わせて「単価」または「金額」を選択します。

「金額」を選択した場合は単価を逆算しますので、逆算単価の小数点以下桁数を選択します。「下層を隠し階層にする(H)」にチェックを入れると、この階層より下の階層をすべて隠し階層にすることができます。隠し階層は印刷書式の設定で印刷する・印刷しないを選択することができます。

なお、隠し階層に設定するとツリーのアイコンが  から  に変更され、グリッドの「隠層」欄にチェックマークが表示されます。



「OK」をクリックすると下階層が作成されます。

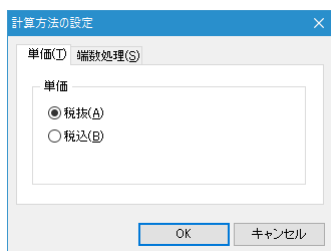
下階層の作成後に行の設定を変更する場合は、親階層の行を右クリックして表示されるメニューから「行の設定」を選択します。

3.6 単価や端数処理の設定を変更する

見積書の単価や消費税の計算方法を変更することができます。

「ファイル」から「計算方法の設定」をクリックします。

計算方法の設定画面が表示されます。



「単価」タブでは内訳の単価が「税抜」か「税込」かを選択します。初期設定は自社情報の内容が反映されます。

- 注 意**
- 単価を税込に設定した場合次の設定は行えません。
 - ・消費税抜き値引の入力
 - ・消費税別途の印刷

「端数処理」タブでは「金額」と「消費税」の端数処理方法を選択します。

3.7 法定福利費の設定

法定福利費の設定を行います。

メニューの「ファイル」から「法定福利費の設定」をクリックします。

自社情報の法定福利費の設定が初期設定として読み込まれます。

法定福利費の設定画面

		見積金額	実行金額
[工事計]		700,000	610,000
[うち労務費]		154,000	134,200

名称	加入比率 (%)	料率 (%)	見積金額 保険料	実行金額 保険料
健康保険料	100	4.98	7,669	6,683
介護保険料	53.2	0.79	647	564
厚生年金保険料	100	8.914	13,728	11,963
子ども・子育て拠出金	100	0.2	308	268
雇用保険料	100	0.9	1,386	1,208
労災保険料				
[法定福利費]		23,738	20,686	

見積書に法定福利費を計上する場合は「法定福利費を計算する」にチェックを入れます。

労務費の算出方法

項目名	説明
積算	見積書の内訳で労務費区分に●がついているものの金額を集計
労務费率	労務费率を設定し、「工事金額」×「労務费率」÷100で算出
入力	直接労務費を入力

各保険料の料率は協会けんぽ等のウェブサイトでご確認ください。


法定福利費 = [うち労務費] × 加入比率 ÷ 100 × 料率 ÷ 100

※端数処理は金額の端数処理を適用

計算された法定福利費（見積金額・実行金額）が見積書の内訳の合計に加算されます。

3.8 行を挿入・削除する

行の挿入


行を挿入する場合は  をクリックするか「F1」キーを押します。

選択している行の直前（上）に空白行を挿入します。

行の追加

末尾に空白行を追加するには末尾の行でカーソルキーの「↓」（下矢印）を押します。「Shift」キーを押しながら「F1」キーを押しても行を追加することができます。

行の削除

行を削除する場合は  をクリックするか「F3」キーを押します。




選択している行を削除します。


複数の行をまとめて削除する場合は画面左の階層ツリーで、範囲指定する場合は「Shift」キーを押しながら項目をクリックします。個別に項目を選択する場合は「Ctrl」キーを押しながらクリックします。その後、削除を実行してください。

3.9 内訳の数量や単価を入力する

内訳項目の入力を行います。

内訳の項目

項目名	説明
No	No 欄です。数字や文字の入力を行うことができます。
項目	項目名を入力します。 直接入力するか  をクリックしてマスタリストから選択します。マスタリストは「F4」キーでも呼び出すことができます。
規格・摘要	規格・摘要を入力します。 直接入力するか  をクリックしてマスタリストから選択します。マスタリストは「F4」キーでも呼び出すことができます。
見積数量	見積数量を入力します。
実行数量	実行数量を入力します。
単位	単位を入力します。 直接入力するか  をクリックしてマスタリストから選択します。マスタリストは「F4」キーでも呼び出すことができます。 「%」「%」を入力すると金額は単価のパーセントで計算されます。
定価	定価を入力します。

項目名	説明
値引率	見積単価の値引率を入力します。 定価 × 値引率 ÷ 100 = 見積単価
仕切率	実行単価の仕切率を入力します。 定価 × 仕切率 ÷ 100 = 実行単価
見積単価	見積単価を入力します。 設定利益率が入力されている場合、実行単価から自動計算されます。
実行単価	実行単価を入力します。
見積金額	見積金額です。 編集不可 計算式: 見積数量 × 見積単価
実行金額	実行金額です。 編集不可 計算式: 実行数量 × 実行単価
利益率 [%]	粗利益率です。 編集不可 計算式: (見積金額 - 実行金額) ÷ 見積金額 × 100
粗利益	粗利益です。 編集不可 計算式: 金額 - 実行金額
備考	備考欄です。 直接入力するか  をクリックしてマスタリストから選択します。マスタリストは「F4」キーでも呼び出すことができます。
労務	法定福利費の計算に使用します。 行が労務費の場合にはどの文字でも構いませんのでキーボードから入力します。入力した文字は「●」に変換されます。 法定福利費を計算しない場合や、労務費の算出方法が「積算」以外の場合は使用しません。BackSpace キーでクリアしてください。
非税	税区分が非課税の場合、どの文字でも構いませんのでキーボードから入力します。入力した文字は「※」に変換されます。 「※」をつけた行の金額が「うち非課税」に集計されます。
隠層	下位の階層が隠し階層である場合、「○」が表示されます。 隠し階層の切り替えは行を右クリックして表示されるポップアップメニューから「行の設定」をクリックします。 「隠層」のセルをダブルクリックしても行の設定が可能です。

3.10 セルの内容を複写する

内訳の項目は入力済みの行（上の行）のデータを複写（コピー）して入力することができます。

「複写 [F8]」機能を使用する

すぐ上のセルの項目をコピーするにはキーボードの「F8」キーを押すか、右クリックで表示されるポップアップメニューの「複写 [F8]」を選択します。コピー後に右のセルに自動的に移動する・しないはメインメニューの「環境設定」で変更できます。

「Enter」キーで複写する

メインメニューの「環境設定」で「Enter キーで直前の項目を複写する」にチェックが入っている場合、セルに何も入力せずに「Enter」キーを押すと、すぐ上のセルの項目をコピー

することができます。同じデータが続く場合に素早く入力することができます。

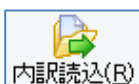
「↑」キーで離れたセルの項目を複写する

メインメニューの「環境設定」で「↑」キーで離れたセルの項目を複写する」にチェックが入っている場合、キーボードの上矢印キーを複数回押すことで離れたセルのデータをコピーすることができます。

注意 セルが編集状態(カーレットが表示されている)になっているときに有効です。

3.11 他の見積書から内訳を読み込む

他の見積書から内訳を選択して読み込むことができます。以前に作成した見積書の項目を再利用する場合に便利です。



をクリックすると見積書の読込画面が表示されます。

見積書から内訳を読み込み													
見積No		サンプル建設工事											
項目	規格・摘要	見積数量	実行数量	単位	定価	値引率	仕切率	見積単価	実行単価	見積金額	実行金額	備考	非労務
<input checked="" type="checkbox"/>	A 仮設工事	2	2	式				497,311	121,073	994,622	242,146		
<input checked="" type="checkbox"/>	1 足場架設工事...	119	119	床㎡				972	168	115,668	19,992		●※
<input checked="" type="checkbox"/>	2 中継設置	119	119	床㎡				108	21	12,852	2,499		●※
<input checked="" type="checkbox"/>	3 メッシュシート張	294	294	張㎡				192	36	56,448	10,584		●※
<input checked="" type="checkbox"/>	4 仮設トイレ	1	1	基				31,543	5,895	31,543	5,895		●※
<input checked="" type="checkbox"/>	5 重機レッカー	1	1	台				54,000	40,000	54,000	40,000		●※
<input checked="" type="checkbox"/>	6 産廃処理費 産廃入れラック	8	8	m3				11,250	2,105	90,000	16,840		●※
<input checked="" type="checkbox"/>	7 ハウスクリー...	1	1	式				46,800	8,421	46,800	8,421		●※
<input checked="" type="checkbox"/>	8 仮設水道	1	1	式				45,000	8,421	45,000	8,421		●※
<input checked="" type="checkbox"/>	9 仮設電気	1	1	式				45,000	8,421	45,000	8,421		●※
<input checked="" type="checkbox"/>	[小計]									497,311	121,073		
<input type="checkbox"/>	B 基礎工事	1	1	式						1,079,685	214,321		
<input type="checkbox"/>	1 ベタ基礎	20.79	20.79	坪				31,500	6,947	654,885	144,428		
<input type="checkbox"/>	2 勝手口土間工事	1	1	式				31,500	4,211	31,500	4,211		
<input type="checkbox"/>	3 玄関、ポーチ...	1	1	式				49,500	6,316	49,500	6,316		
<input type="checkbox"/>	4 独立基礎	3	3	箇所				63,000	10,526	189,000	31,578		
<input type="checkbox"/>	5 圧そうポンプ費	2	2	回				45,000	6,316	90,000	12,632		
<input type="checkbox"/>	6 残土処理費	18	18	m3				3,600	842	64,800	15,156		
<input type="checkbox"/>	[小計]									1,079,685	214,321		
<input type="checkbox"/>	C 木工事	1	1	式						1,890,088	1,859,493		
<input type="checkbox"/>	D 大工事	1	1	式						2,168,127	2,035,600		
<input type="checkbox"/>	E 屋根板金、繕工事	1	1	式						701,424	199,998		
<input type="checkbox"/>	F サッシ工事	1	1	式						873,000	204,210		
<input type="checkbox"/>	G 外壁工事	1	1	式						1,350,726	264,479		

「見積 No」欄に読み込みたい見積書の No を直接入力するか [...] をクリックして見積書リストから選択します。選択した見積書の内訳が表示されるので、読み込みたい項目にチェックを入れます。

「読込実行(E)」をクリックすると見積書に選択した項目が読み込まれます。

3.12 クリップボードから貼り付ける

エクセルなどの表をコピーして見積書の内訳に貼り付けることができます。

まず、エクセルなどの表で範囲を選択してコピーします。つぎに工事見積書 2 の内訳画面で貼り付けたいセルを右クリックします。表示されるポップアップメニューから「クリップボードから貼り付け」を選択するとコピーしたデータをまとめて貼り付けることができます。

- 注** 数字の項目に文字は貼り付けできません。
意 エクセルでセルを結合している場合、意図しない場所に貼り付けられる場合があります。集計行(諸経費・小計・合計)には貼り付けできません。

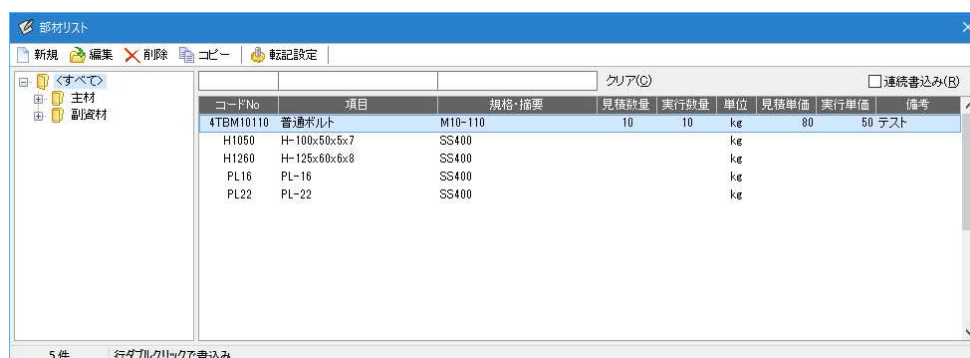
エクセルから貼り付ける場合は列単位でコピー・貼り付けを行ってください。
 意図しない場所への貼り付けを回避することができます。

3.13 部材マスタを活用する

見積項目は直接入力する以外に部材マスタから選択して転記することもできます。

部材マスタリストを表示するには  をクリックするか「F6」キーを押します。

部材リスト画面



画面左側には分類が階層表示されます。分類を選択するとその分類の部材が右側のグリッドに一覧表示されます。

部材を選択してダブルクリックするか「Enter」キーを押すと、選択した部材データが見積書に書き込まれます。

「連続書込み」にチェックを入れると、リストを閉じずに連続して部材を見積書に転記することができます。


「転記設定」をクリックすると、部材リストから見積書に転記する項目を選択する画面が表示されます。転記したくない項目はチェックを外してください。

3.14 マスタリストを活用する

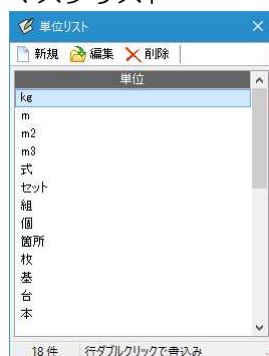
次の項目は直接入力する以外にマスタリストから選択して転記することもできます。

「項目」、「規格・摘要」、「単位」、「備考」

マスタリストによく使うデータを登録しておくとう入力が簡単になります。

マスタリストを呼び出すには上記の各項目欄で Enter キーを押して表示される  をクリックするか「F4」キーを押します。

マスタリスト



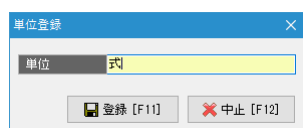
マスタリスト画面で使用するボタン

ボタン	対応キー	機能
新規	F1	マスタを新規登録します。
編集	F2	選択しているマスタを編集します。
削除	F3	選択しているマスタを削除します。

～マスタの並び順について～

並び順は変更することができます。一覧を右クリックして表示されるメニューで「上へ移動」または「下へ移動」を選択すると、選択しているマスタを移動することができます。

マスタを登録する場合は「新規」をクリックします。選択しているマスタを修正する場合は「編集」をクリックします。




マスタとして登録する項目を入力します。

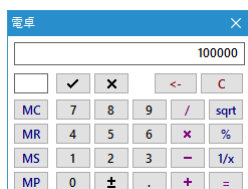
編集したデータを登録する場合は  をクリックします。キャンセルする場合は  をクリックします。

3.15 電卓を活用する

次の項目は直接入力する以外に電卓で計算して転記することもできます。

「見積数量」、「実行数量」、「見積単価」、「実行単価」

電卓を呼び出すには上記の各項目欄で Enter キーを押して表示される  をクリックするか「F4」キーを押します。



電卓はボタンをクリックするか 0～9 の数字キー、四則演算キーを押すことで入力することができます。

計算値を転記する場合は をクリックします。中止して電卓を閉じる場合は をクリックします。

注意



ボタンにキーは割り当てられていません。
マウスでクリックしてください。



をクリックすると計算値の丸め処理ダイアログが表示されます。

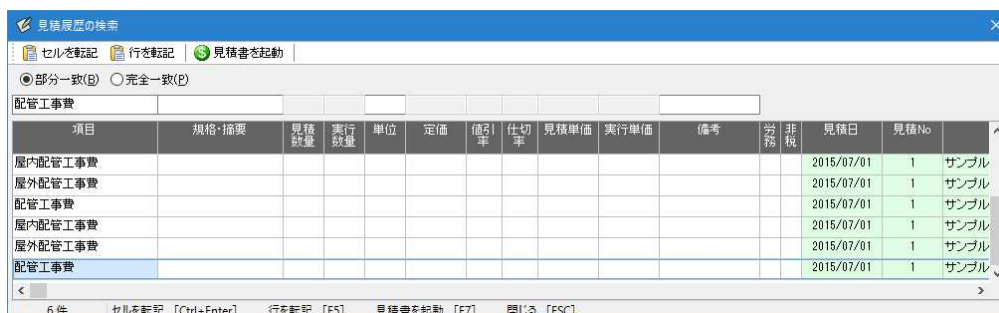


画面上部に丸め処理後の値が表示されます。丸める桁を選択して「OK」をクリックすると見積書の内訳に値が転記されます。

3.16 履歴から検索する

選択している項目を他の見積書のデータから検索することができます。入力した部材を過去の見積書ではいくらか見積りしたかを調べる場合に便利です。

履歴の検索を行うにはグリッドを右クリックして表示されるポップアップメニューから「履歴の検索」をクリックするか「Ctrl」+「H」キーを押します。



検索文字欄に見積書の項目、規格・摘要が自動的にセットされ、履歴が表示されます。

検索する条件を変更する場合は検索文字列を編集します。


履歴から見積書にデータを転記する場合はセルをダブルクリックするか「Ctrl」+「Enter」キーを押します。行を転記する場合は「F5」キーを押します。選択している行の見積書を別

画面で起動する場合は「F7」キーを押します。

注 別画面の見積書からの行コピー・貼り付けには対応しておりません。
意 クリップボードを介したコピー・貼り付けを行ってください。

3.17 諸経費行を追加する

諸経費を自動計算する行を追加することができます。諸経費行を挿入すると、直前までの項目の金額を合計し、経費率を掛けた金額が自動計算されます。

諸経費行を挿入する場合は  をクリックして表示されるプルダウンメニューの「諸経費(X)」をクリックします。

諸経費行の編集画面が表示されます。

実行予算の金額は入力した利益率から自動計算されます。

各項目を入力して「OK」をクリックすると諸経費行が追加されます。

挿入した諸経費行を再編集する場合は行をダブルクリックするか、グリッドを右クリックして表示されるメニューから「諸経費行の修正(P)」を選択します。

注 集計範囲内に諸経費行がすでにある場合は、その諸経費行の次の行から集計が行われます。


3.18 小計・合計行を追加する

小計行、合計行を挿入します。

小計行は同じ階層にいくつでも挿入することができます。


合計行は1つの階層に1行のみ最下段に追加することができます。

小計の挿入

小計行を挿入する場合は  をクリックして表示されるプルダウンメニューの

「小計(Y)」をクリックします。選択している行の直後(下)に小計行を挿入します。

合計の挿入

合計行を追加する場合は  をクリックして表示されるプルダウンメニューの

「合計(Z)」をクリックします。一番下に合計行が追加されます。

注 合計行より下に行を追加することはできません。
意 また最上位の階層には合計行を挿入することはできません。
 ※最上段の合計は最初から表示されています。

改ページに合わせて画面上に区切り線が表示されます。
 小計や合計をページの一番下に持てきたい場合は、間に空白行を挿入して体裁を整えてください。

3.19 数量を一括設定する

見積数量または実行数量を一括設定することができます。



をクリックして表示されるメニューから「数量」をクリックします。

数量一括設定画面が表示されます。

数量の設定方法を指定したら、丸め処理と計算範囲を指定して「OK」をクリックします。

3.20 単価を一括設定する

単価を一括設定することができます。

一括設定は

- 定価 → 見積単価
- 定価 → 実行単価
- 実行単価 → 見積単価
- 見積単価 → 実行単価
- 現在の単価の%増減

の計算が可能です。



をクリックして表示されるメニューから「単価」をクリックします。

単価一括設定画面が表示されます。

単価の設定方法を指定したら、丸め処理と計算範囲を指定して「OK」をクリックします。

3.21 内訳の No を一括設定する

内訳の No を一括設定することができます。



をクリックして表示されるメニューから「No」をクリックします。

No 一括設定画面が表示されます。

No の種類と設定する行を選択して「OK」をクリックすると選択している階層の No が一括設定されます。


3.22 行の並べ替えを行う

行を上下に移動させるには編集グリッドを右クリックして表示されるポップアップメニューから「行を上へ移動 (Y)」または「行を下へ移動 (Z)」を選択します。
キーボードの「Shift」「Ctrl」の両キーを押しながらカーソルキーの「↑」または「↓」を押しても行の移動を行うことができます。

- 注意** 行移動は同じ階層内でのみ可能です。上位の階層や下位の階層に行を移動させることはできません。
違う階層への行の移動は以下の手順で行ってください。
1. 行をコピーします。
 2. 移動先の階層でコピーした行を挿入します。
 3. もとの行を削除します。

3.23 値引の入力や消費税率の設定を行う

内訳の入力が終わったら、最終的な値引きの入力や消費税率の設定を行います。

 をクリックすると指定した税込合計金額になるように値引額を逆算する画面を表示します。

税抜単価の場合

合計の項目（法定福利費を計算しない場合）

No	項目名	説明
①	値引	税前値引き欄です。 マイナス(-)をつけて入力します。
②	合計	内訳の合計から値引額を引いた合計です。 内訳+①
③	うち非課税	内訳の入力で「非課税」に設定した行の合計金額です。
④	消費税	消費税額です。税率欄に消費税率を入力します。 $(② - ③) \times \text{税率} \div 100$
⑤	値引	消費税計算後の値引き欄です。 マイナス(-)をつけて入力します。
⑥	税込合計	税込の合計金額です。 $② + ④ + ⑤$

合計の項目（法定福利費を計算する場合）

No	項目名	説明
①	値引	税前値引き欄です。 マイナス(-)をつけて入力します。
②	工事計	内訳の合計から値引額を引いた合計です。 内訳+①
③	うち労務費	工事計のうちの労務費の金額です。
④	法定福利費	法定福利費の金額です。
⑤	合計	工事計と法定福利費を足した税抜合計です。 $② + ④$

No	項目名	説明
⑥	うち非課税	内訳の入力で「非課税」に設定した行の合計金額です。
⑦	消費税	消費税額です。税率欄に消費税率を入力します。 $(⑤ - ⑥) \times \text{税率} \div 100$
⑧	値引	消費税計算後の値引き欄です。 マイナス(-)をつけて入力します。
⑨	税込合計	税込の合計金額です。 $⑤ + ⑦ + ⑧$

税込単価の場合

合計の項目（法定福利費を計算しない場合）

No	項目名	説明
①	値引	税込値引き欄です。 マイナス(-)をつけて入力します。
②	税込み合計	内訳の合計から値引額を引いた合計です。 内訳+①
③	うち非課税	内訳の入力で「非課税」に設定した行の合計金額です。
④	消費税	消費税額です。税率欄に消費税率を入力します。 $(② - ③) \times \text{税率} \div (100 + \text{税率})$

合計の項目（法定福利費を計算する場合）

No	項目名	説明
①	値引	税込値引き欄です。 マイナス(-)をつけて入力します。
②	工事計	内訳の合計から値引額を引いた合計です。 内訳+①
③	うち労務費	工事計のうちの労務費の金額です。
④	法定福利費	法定福利費の金額です。
⑤	税込み合計	工事計と法定福利費を足した合計です。 ②+④
⑥	うち非課税	内訳の入力で「非課税」に設定した行の合計金額です。
⑦	消費税	消費税額です。税率欄に消費税率を入力します。 $(⑤ - ⑥) \times \text{税率} \div (100 + \text{税率})$

注意 税込単価の場合、税抜の値引は使用できません。

3.24 見積書を印刷する

見積書が完成したら印刷を行います。



をクリックすると選択した書式で印刷プレビューが表示されます。

このとき表紙の「見積書書式」が空白の場合は書式リスト画面が表示されます。書式リストで印刷に使用する書式をダブルクリックして選択すると印刷プレビューが表示されます。


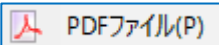
印刷する場合は  をクリックします。

なお一度選んだ書式は「見積書書式」に設定されますので、書式を変更する場合は「見積書書式」でリストを呼び出して設定しなおしてください。

印刷に使用するプリンタは「環境設定」の「書式」タブにある「通常使うプリンタ」で設定できます。

3.25 見積書を PDF ファイルに書き出す

作成した見積書を PDF ファイルに書き出します。


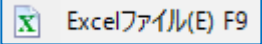
 をクリックして表示されるメニューから  を選択すると PDF ファイルの作成ダイアログが表示されます。

このとき表紙の「見積書書式」が空白の場合は書式リスト画面が表示されます。書式リストで使用する書式をダブルクリックして選択すると作成ダイアログが表示されます。保存する場所を選択して「保存(S)」をクリックすると選択した書式の PDF ファイルが作成されて表示されます。

注意 PDF ファイルを作成するには Excel2007 以上がインストールされている必要があります。
Excel2007 で PDF ファイルの作成ができない場合は Microsoft から提供されているアドインをインストールしてください。

3.26 見積書をエクセルファイルに書き出す

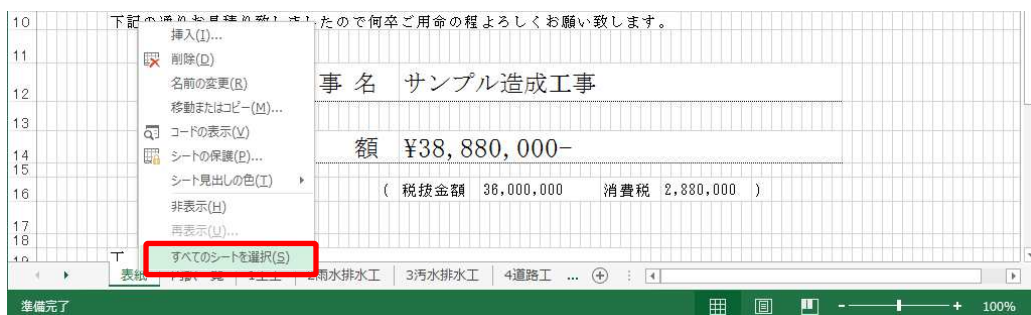
エクセルファイルに書き出し、編集や印刷を行います。

 をクリックして表示されるメニューから  を選択するとエクセルファイルの作成ダイアログが表示されます。

このとき表紙の「見積書書式」が空白の場合は書式リスト画面が表示されます。書式リストで使用する書式をダブルクリックして選択すると作成ダイアログが表示されます。保存する場所を選択して「保存(S)」をクリックすると選択した書式のエクセルファイルが作成されて表示されます。

一括印刷

見積書の全ページを一度に印刷する場合は、ワークシートの見出しを右クリックして表示されるポップアップメニューから「すべてのシートを選択(S)」をクリックします。



すべてのワークシートが選択されますので印刷を実行します。印刷が終了したら再度ワークシートの見出しを右クリックして表示されるポップアップメニューから「作業グループ解除(U)」をクリックします。



注意 印刷後は必ず作業グループ解除を実行してください。すべてのシートが選択されている状態でセルの編集を行うと、他のワークシートの同じ位置のセルも編集されてしまうためデータがおかしくなってしまいます。

3.27 エクスポート

編集中の見積データを一時的にテキストファイルにエクスポートすることができます。メニューの「ファイル」から「PC」を選択し、「エクスポート」をクリックするとファイルの保存ダイアログが表示されますので保存先とファイル名を決定し、「保存(S)」をクリックします。

工事見積書 2 同士のデータのやりとりにも利用することができます。

3.28 インポート

保存したテキストファイルのデータを読み込む場合に使用します。メニューの「ファイル」から「PC」を選択し、「インポート」をクリックするとファイルを開くダイアログが表示されますのでインポートするファイルを選択して「開く(O)」をクリックします。

工事見積書 2 同士のデータのやりとりにも利用することができます。

注意 Windows の日付、時刻または数値の形式で、「日付(短い形式)」が変更されている場合、エクスポートしたデータをインポートできない場合があります。この場合は「日付(短い形式)」を「yyyy/MM/dd」に変更してください。

注意 工事見積書 工事見積書 Super
工事見積書 2 工事見積書 Super2
の見積書データをインポートすることができます。
※工事見積書 Super2 の請求書データもインポート可能。

3.29 スマートフォン用エクセルファイルを使う

専用のエクセルファイルを利用することで、見積書データをスマートフォンやタブレット端末で編集することができます。

注意 お使いのスマートフォンやタブレット端末に対応する MicroSoft Excel を事前にインストールしておいてください。

注意 エクセルファイル単独での見積書印刷はできません。
編集したファイルは工事見積書 2 にインポートしてください。

注意 編集できるのは 1 階層の簡単な見積書のみとなります。
複数の階層を持つ見積書の場合、1 階層目のみ入出力できます。

注意 小計行、諸経費行の書き出しおよび読み込みはできません。

注意 税込単価と税抜単価で使用するエクセルのファイルが異なります。
1つのファイルで税込単価と税抜単価を切り替えることはできません。

注意 パソコンに Excel がインストールされていなくてもファイルの作成は可能ですが、
・内訳の表示列を工事見積書 2 の表示に合わせる
・部材マスタシートのオートフィルタ
の 2 項目は Excel がインストールされていないと実行されません。

エクセルファイルを作成する

見積書の作成画面でメニューの「ファイル」から「モバイル」を選択し、「エクスポート」をクリックします。Excel ファイルの保存ダイアログが表示されますので、「OneDrive」や「DropBox」等のオンラインストレージフォルダを選択して保存します。作成されたエクセルファイルが起動しますので、内容を確認して閉じます。

注意 オンラインストレージ以外の場所に保存した場合はメールなどでモバイル端末にファイルを転送してください。

エクセルファイルを編集する

作成したエクセルファイルをスマートフォンやタブレット端末で開きます。

ワークシートは3つあります。

ワークシート名	説明
表紙	表紙の入力画面です
法定福利費	法定福利費の入力画面です。
内訳	内訳の入力画面です。 1階層のみ編集できます。
部材マスタ	部材マスタの画面です。 必要に応じて内訳にコピーして貼り付けてください。

まず、表紙の項目の入力します。ブルーの項目は編集不可です。

法定福利費は法定福利費ワークシートで行います。

つぎに内訳のワークシートを選択して、内訳の入力を行います。数量と単価を入力すると、合計金額が自動的に集計されます。

内訳の空白行は初期設定で 50 行あります。不足する場合は行を挿入してください。

Andorid での Excel 編集画面



注意 ブルーのセルは編集しないでください。

注意 内訳の列を並び替えたり、挿入、削除をしないでください。
工事見積書 2 にインポートできなくなります。

注意 工事見積書 2 にインポートできる内訳の最大行数は 9999 行です。

注意 内訳の【値 引】以降の行は削除しないでください。
また、「**削除不可**」の文字を消したり変更しないでください。

注意 ユニコード文字は工事見積書 2 では表示することができません。

注意 表紙・法定福利費のワークシートは保護してあります。(パスワードはなし)
内訳、部材マスタのワークシートは保護していません。

注意 ワークシートの名前は変更しないでください。
工事見積書 2 にインポートすることができなくなります。

編集したエクセルファイルを読み込む

編集したエクセルファイルから工事見積書 2 にデータをインポートします。
見積書の作成画面でメニューの「ファイル」から「モバイル」を選択し、「インポート」をクリックします。
「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので、読み込むエクセルファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。
エクセルのデータが読み込まれます。

4

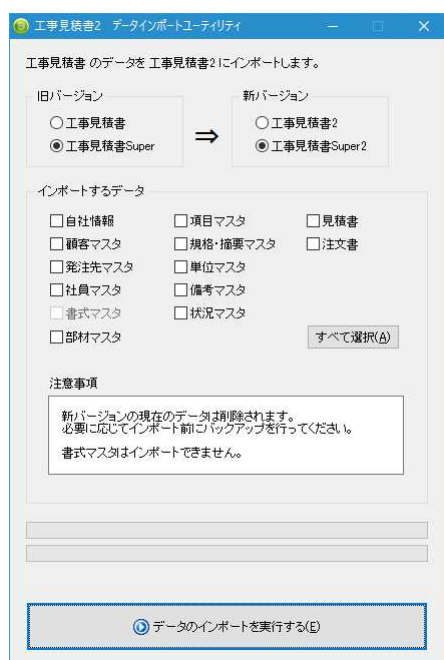
保守・環境

4.1 旧バージョンのデータをインポート

工事見積書の旧バージョンがインストールされている場合、旧バージョンから本アプリケーションにデータをインポートすることができます。

データインポートユーティリティを起動するにはメニューの「処理」から「保守環境」を選択し、「旧バージョンのデータをインポート」をクリックします。

注意 現在のデータは削除されて旧バージョンのデータがインポートされます。



同一 PC に工事見積書と工事見積書 Super が両方インストールされている場合、インポート元（旧バージョン）とインポート先（新バージョン）を選択します。

つぎにインポートするデータを選択します。すべてのデータを新バージョンにインポートする場合は「すべて選択」をクリックします。

インポートするデータを選択したら「データのインポートを実行する」をクリックします。インポートが完了したら、工事見積書 2 を再起動してください。

注意 旧バージョンの書式マスタはインポートされません。
注意 書式をカスタマイズしている場合は、別途書式マスタで編集してください。
なお旧バージョンのエクセルフォーマットは*.xls です。旧バージョンの書式を使用する場合は*.xlsx 形式で保存してください。

4.2 最新データに更新


工事見積書 2 を複数台のパソコンで使用している場合、他のパソコンでマスターデータが更新される場合があります。「最新データに更新」をクリックすることで、その更新データを再度読み込みます。

最新データに更新する場合は、メニューの「処理」・「保守環境」から「最新データに更新」をクリックします。

注 1台のパソコンで工事見積書 2 を使用している場合はこの機能を実行する必要はありません。

4.3 環境設定

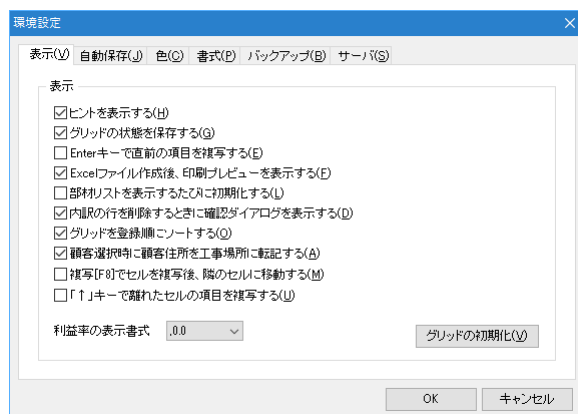
工事見積書 2 の各種設定を行います。

保守環境タブの  **環境設定** をクリックします。
環境設定画面が表示されます。

表示タブ

工事見積書 2 の表示設定をします。

表示タブ画面



項目	「ヒントを表示する」
動作	各画面のボタンのヒントを表示します。ヒントが表示されるのが邪魔な場合は、チェックをはずしてください。

項目	「グリッドの状態を保存する」
動作	一覧や編集グリッドの列幅や並び順を保存し、次回表示時に前回と同じ状態にします。

項目	「Enter キーで直前の項目を複写する」
動作	編集グリッドの空白セルで Enter キーを押すと直前(上)の項目を複写します。チェックをはずすと Enter キーで複写することはできなくなります。

項目	「Excel ファイル作成後、印刷プレビューを表示する」
動作	Excel ファイル作成後に Excel の印刷プレビューを自動的に表示します。

項目	「部材リストを表示するたびに初期化する」
動作	内訳の編集画面で呼び出す部材リストを表示するたびに初期化します。チェックをはずすと前回と同じ状態で部材リストが表示されます。

項目	「内訳の行を削除するときに確認ダイアログを表示する」
動作	行を削除するときに確認ダイアログを表示します。

項目	「グリッドを登録順にソートする」
動作	グリッドの並び順を登録順にします。

項目	「顧客選択時に顧客住所を工事場所に転記する」
動作	見積書の編集画面で顧客をリストから選択するときに顧客住所を工事場所に転記するか選択します。

項目	「複写[F8]でセルを複写後、隣のセルに移動する」
動作	見積書の内訳入力で複写[F8]でセルを複写後、隣のセルに移動するか選択します。

項目	「「↑」キーで離れたセルの項目を複写する」
動作	見積書の内訳入力で「↑」キーで離れたセルの項目を複写します。

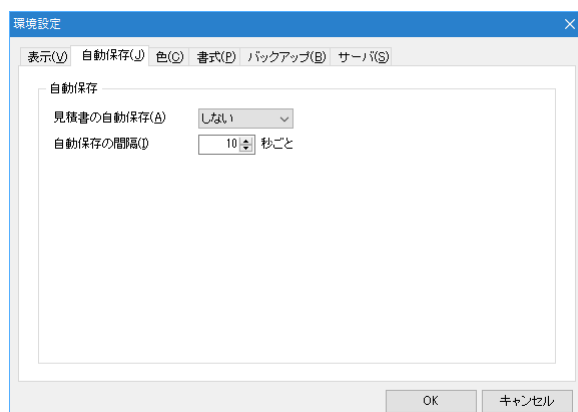
項目	「利益率の表示書式」
動作	利益率を小数点以下何桁まで表示するか選択します。

「グリッドの初期化」ボタンをクリックするとすべてのグリッドの位置や列幅が初期化されます。なお、各グリッドの状態は「ドキュメント¥工事見積書 2¥grids」フォルダに保存されています。*.grd ファイルを削除することでも初期化することができます。

自動保存タブ

見積書の自動保存の設定をします。

自動保存タブ画面



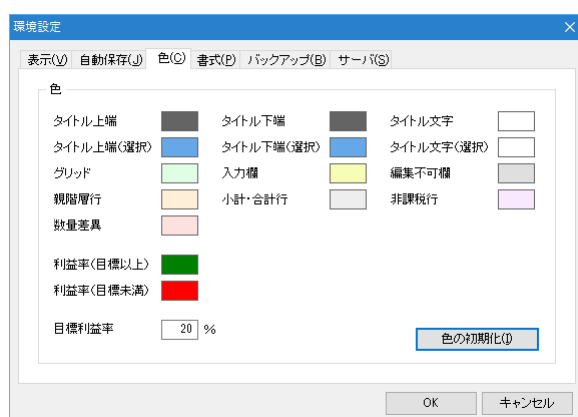
項目	「見積書の自動保存」
動作	見積書の編集画面で自動保存を行うか設定します。

項目	「自動保存の間隔」
動作	自動保存をする間隔(秒)を設定します。

色タブ

色の設定をします。

色タブ画面



項目	「タイトル上端」
動作	タイトル部のグラデーション開始色を設定します。

項目	「タイトル下端」
動作	タイトル部のグラデーション終了色を設定します。

項目	「タイトル文字」
動作	タイトル部の文字色を設定します。

項目	「タイトル上端(選択)」
動作	選択している列のタイトル部のグラデーション開始色を設定します。

項目	「タイトル下端(選択)」
動作	選択している列のタイトル部のグラデーション終了色を設定します。

項目	「タイトル文字(選択)」
動作	選択している列のタイトル部の文字色を設定します。

項目	「グリッド」
動作	グリッドのストライプ色を設定します。

項目	「入力欄」
動作	入力欄を強調する色を設定します。

項目	「編集不可欄」
動作	編集不可の項目の色を設定します。

項目	「親階層行」
動作	見積内訳で下位階層がある項目の色を設定します。

項目	「小計・合計行」
動作	小計・合計行の色を設定します。

項目	「非課税行」
動作	非課税行の色を設定します。

項目	「数量差異」
動作	見積数量と実行数量が異なる場合の実行数量欄の色を設定します。

項目	「利益率(目標以上)」
動作	目標利益率以上の利益率の文字色を設定します。

項目	「利益率(目標未満)」
動作	目標利益率未満の利益率の文字色を設定します。

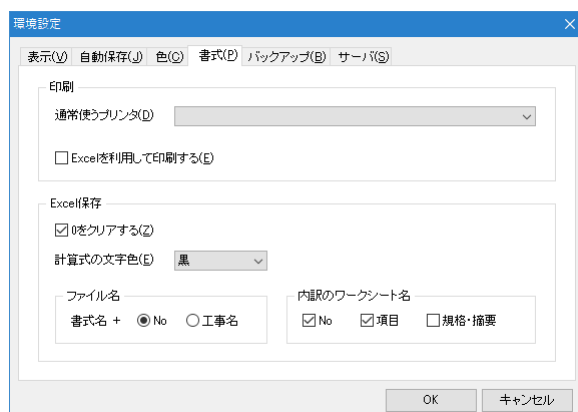
項目	「目標利益率」
動作	目標利益率を入力します。

「色の初期化」ボタンをクリックすると設定した色がすべて初期化されます。

書式タブ

印刷の設定を行います。

書式タブ画面



項目	「通常使うプリンタ」
動作	通常使うプリンタを設定します。

項目	「Excel を利用して印刷する」
動作	印刷にエクセルを使用します。 エクセルを使用することで透過 gif、透過 png の印刷が可能になります。 ただし Excel2007 以降がインストールされている必要があります。

項目	「0 をクリアする」
動作	Excel で 0 のセルをクリアします。(数式含む)

項目	「計算式の文字色」
動作	Excel で計算式が設定されているセルの文字色を指定します。

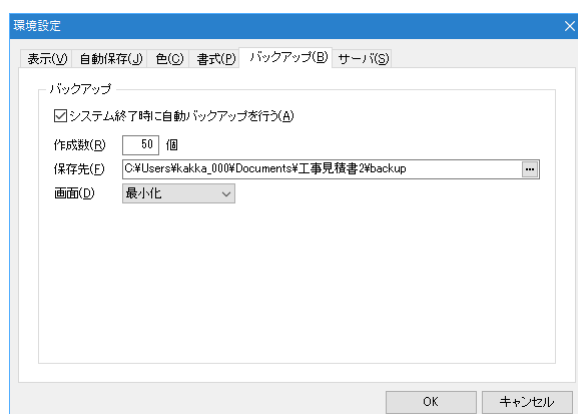
項目	「ファイル名」
動作	エクセルに書き出す際のファイル名の初期値を設定します。

項目	「内訳のワークシート名」
動作	エクセルに書き出す際のワークシート名を設定します。

バックアップタブ

バックアップの設定を行います。

バックアップタブ画面



項目	「システム終了時に自動バックアップを行う」
動作	アプリケーション終了時に自動的にバックアップを行います。

項目	「作成数」
動作	バックアップファイルの最大作成数を指定します。 バックアップファイルを多めに作成してください。データに問題が発生した場合に問題がなかったデータまでさかのぼることができます。

項目	「保存先」
動作	バックアップファイルの保存先を指定します。

項目	「画面」
動作	バックアップ中に画面表示するか選択します。

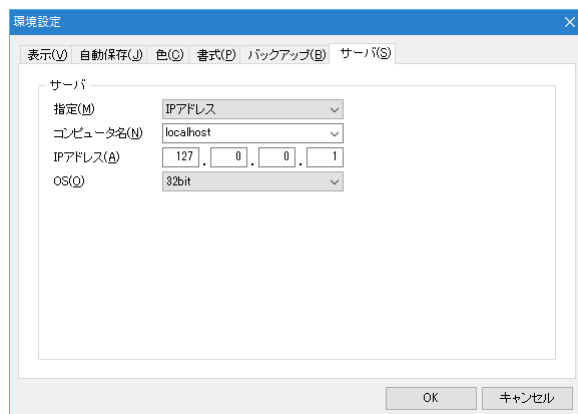
注意 「画面」を非表示にしている場合、工事見積書 2 が終了しても自動バックアップは実行されています。自動バックアップ中に Windows をシャットダウンするとバックアップが途中で中断されます。
また、画面を「表示」または「最小化」にしている場合もバックアップ中の画面を閉じるとバックアップが中断されます。
中断したバックアップファイルでは正常に復元できなくなります。
Windows のシャットダウンはバックアップが終了してから行ってください。

注意 自動バックアップをしないと、不注意でデータを削除してしまった場合や、ファイルが破損した場合に直前のデータに戻すことができません。
自動バックアップを行うことを強くお勧めします。
また、多くのバックアップファイルを作成するように設定すると何世代も前のデータが残りますので、いざという時に安心です。
バックアップファイルは保存先フォルダに
auto1.gbk、auto2.gbk、auto3.gbk、・・・autoN.gbk（N は最大作成数）
というように作成されます。
1つのファイルが1つのバックアップファイルです。
最大作成数に達したら、また 1 に戻りバックアップファイルを作成します。

サーバタブ

サーバ情報の設定を行います。

サーバタブ画面



項目	「接続」
動作	サーバへの接続方法を選択します。

項目	「コンピュータ名」
動作	サーバのコンピュータ名を入力します。

項目	「IP アドレス」
動作	サーバの IP アドレスを入力します。

項目	「OS」
動作	サーバの OS が 32bit か 64bit か選択します。

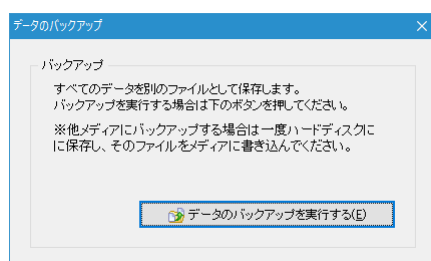
項目	「接続が確立されているか実行時にチェックする」
動作	クライアント・サーバシステムで運用している場合にデータベースサーバとの通信が確立されているか必要に応じてチェックを行います。 単独で利用している場合はチェックを外してください。

注 コンピュータ名に日本語が含まれる場合はサーバの指定方法を「IP アドレス」に
意 してください。日本語が含まれていると接続できません。

4.4 データのバックアップ

メインメニューの「データのバックアップ」ボタンをクリックします。
データのバックアップ画面が表示されます。

データのバックアップ画面



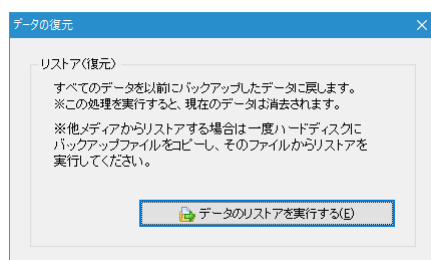
バックアップファイルを作成する場所を選択して「保存」をクリックします。
まさかのために定期的にデータのバックアップを実施することをお勧めします。
バックアップしたデータは USB メモリ, CD-R 等ハードディスクとは別のメディアにコピーしておけばハードディスクが破損した場合でも復旧することができます。

注 一度デスクトップなどにバックアップファイルを作成したあとに、他メディアに書き
意 込んでください。

4.5 データの復元

メインメニューの「データの復元」ボタンをクリックします。
データの復元画面が表示されます。

データの復元画面



以前にバックアップしたときのデータに現在のデータを戻します。

復元の元となるファイルを選択し、データの復元を実行します。

注 通常はこの作業は必要ありません。
意 データが壊れた、おかしくなったなどの緊急時以外は行わないで下さい。

注 他の PC で使用していた工事見積書 2 のデータを復元する場合は、復元後に各
意 書式のテンプレートファイルのパスを修正する必要があります。
 テンプレートファイルのパスを修正しないと帳票の印刷ができません。

4.6 郵便番号辞書更新

日本郵便作成の郵便番号データをインターネットからダウンロードしてデータベースに取り込みます。市町村合併などで住所が変わった場合に行います。この処理を実行するにはインターネットに接続できる環境が必要です。

郵便番号辞書更新画面



1. 保守・環境タブの「郵便番号辞書更新」をクリックします。
2. 郵便番号辞書更新の画面が表示されるので「ダウンロードページを開く」をクリックします。
3. ブラウザが起動して郵便番号ダウンロードページが表示されます。
4. 差分データでない全国一括の CSV データをダウンロードして解凍します。
5. 解凍した郵便番号 CSV データを郵便番号辞書更新の「…」のボタンをクリックして選択します。
6. 「郵便番号データの更新を実行する」ボタンをクリックします。
7. しばらく経つとデータの更新が完了するので、この画面を閉じます。

注 日本郵便のダウンロードページについて
意 郵便番号データのダウンロードページが変更された場合、郵便番号辞書更新画面からそのページを開くことができません。
 この場合はブラウザから直接郵便番号のダウンロードページを開いてください。

注 郵便番号辞書更新を実行しただけですでに登録されている顧客や社員の住所は更新されません。更新されるのは郵便番号の辞書データのみです。

5

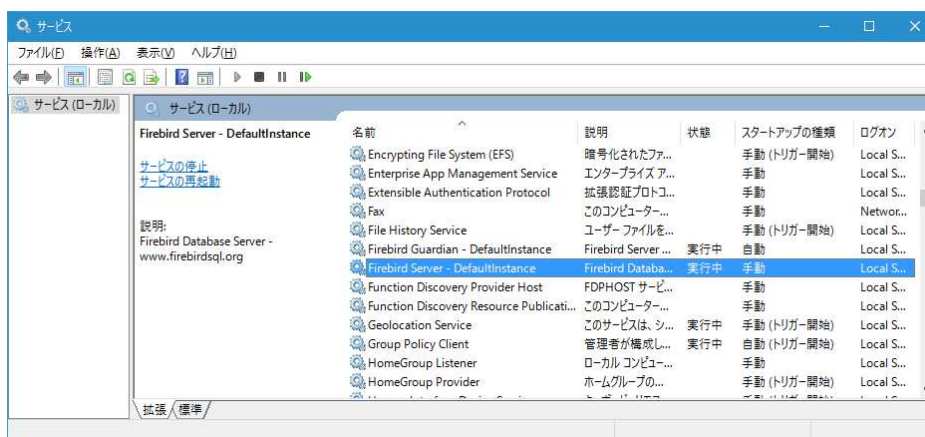
付録

5.1 困ったときは

起動できない

コントロールパネルの「管理ツール」から「サービス」を開き、Firebird Server のサービスが開始されているか確認してください。

サービス画面



Firebird Server が停止している場合は「サービスの開始」をクリックしてください。アプリケーションをネットワークで使用していて、このコンピュータがクライアントの場合は以下の点も確認してください。

- ① サーバマシンが起動しているか。
- ② ネットワークが物理的に切断されていないか。
- ③ ファイアウォールでポートの 3050 番が塞がれていないか。もしくは fbserver.exe の通信が許可されているか。
- ④ アプリケーションの環境設定に正しいサーバの接続情報が登録されているか。

注意 ファイアウォールは Windows 標準のものとウイルス対策ソフトに付属しているものなどありますが、有効になっているすべてのファイアウォールの設定を行う必要があります。

「サービス」に Firebird Server の項目がない場合は、下記 URL より Firebird をダウンロードして、再インストールしてください。

Firebird 1.5.6 インストーラ

<http://www.dangobros.com/firebird/fb156.exe>

ストリームからの読み込みエラーが発生する

工事見積書 2 を再インストールしてください。
 まず「保守・環境」の「データのバックアップ」でデータのバックアップファイルを作成します。つぎに工事見積書 2 をアンインストールしてください。アンインストール後、弊社ホームページより工事見積書 2 の体験版をダウンロードしてインストールしてください。なお、ライセンス情報は保存されていますので、体験版インストールで製品版としてご利用いただけます。再インストールするとデータは初期化されますので、「保守・環境」の「データの復元」でバックアップしておいたファイルからデータを復元してください。

見積書を保存できない

見積書の編集画面で「ファイル」から「エクスポート」を選択します。ファイルの保存ダイアログが表示されますのでわかりやすい場所（デスクトップ等）に現在のデータを一時的に保存します。（テキストファイルに書き出します。）
 工事見積書 2 を再起動して見積書の新規作成画面を表示させます。
 「ファイル」から「インポート」をクリックし、エクスポートしたテキストファイルを選択して退避しておいたデータを読み込みます。

印刷できない（テンプレートファイルが見つからない）

テンプレートファイルの保存場所を確認してください。
 スタンドアロン（1 台）でご利用の場合は初期設定では下記フォルダにテンプレートファイル一式が格納されています。
 保存場所：ドキュメント¥工事見積書 2¥excel
 他の PC で使用していた工事見積書 2 のデータを復元した場合、テンプレートファイルのパスを修正する必要があります。テンプレートファイルパスの変更方法は「書式」ページをご確認ください。

コード No を自動採番する方法

各マスタのコード No は重複しなければ自由につけることができますが、コード No は連番でよいという場合は各コード No 欄で「…」ボタンをクリックしてください。自動的に最大値が採番されます。
 ただし、数字以外の文字でコード No を作成している場合自動採番はできません。

各リストの呼出をキーボードで行いたい

顧客リストや単位リストなどを表示させる場合「…」ボタンをクリックしますが、「F4」キーを押すことでもリストを表示することができます。表示したリストは「ESC」キーで非表示にすることができます。

編集グリッドで行を追加する方法

編集グリッドは最後の項目まで入力して「Enter」キーを押すと改行されて行が追加されます。また、行の途中でもカーソルキーの「↓」キーを押すと新しい行が追加されます。

日付の入力でエラーが発生する

例えば 2007 年 10 月 6 日は「10/6」というように月と日を「/（スラッシュ）」で区切って入力します。このとき年は省略することができます。なお、テンキーで日付を入力する場合は「NumLock」が点灯していることを確認してください。

表の並べ替えをしたい

タイトル行をクリックすると並べ替えを行うことができます。並び順はクリックするたびに昇順、降順が切り替わります。

注意 一部のグリッドではタイトルをクリックしても並べ替えを行うことはできません。

表の列幅を変更したい

タイトル行の列と列の境目にマウスポインタを置くとカーソルが変わります。この状態で左右にドラッグすると任意の列幅に変更することができます。

変更した列幅は「環境設定」の「グリッドの初期化」ボタンをクリックすることで初期化できます。

終了時の自動バックアップに失敗する

「環境設定」画面の「バックアップ」の「保存先」が正しく設定されているか確認してください。

再インストールしたらデータが初期化されてしまった。

工事見積書 2 の環境設定で「システム終了時に自動バックアップを行う」が有効になっている場合は「ドキュメント¥工事見積書 2¥backup」フォルダにデータの自動バックアップファイルが作成されています。

バックアップファイル名：auto*.gbk *は数字

バックアップファイルの更新日時を確認して、もしソフトウェア再インストール前のバックアップファイルが残っていた場合、そのファイルでデータの復元を行うことが可能です。

データの復元方法は「4.4 データの復元」を参照してください。

印刷すると画像に枠線が出力される

下記の形式の画像を出力したときに画像のまわりに薄い線が印刷される場合があります。

画像形式：bmp,jpg,gif,png

線が印刷される場合は次の2つの手段のうちのどちらかで回避してください。

1. 挿入する画像の形式を emf (拡張メタファイル) にする。
2. Excel がインストールされている場合は工事見積書 2 の「環境設定」の「書式タブ」で「Excel を使用して印刷する」にチェックを入れる。

お問い合わせ先

ダンゴブラザース・ドットコム株式会社

<http://www.dangobros.com/>

■お電話でのお問い合わせ

TEL：055-223-0003

受付時間：月曜～金曜 午前 10:00～午後 5:00 ※購入日より2か月間

(祝祭日、弊社特別休業日を除く)

■メールでのお問い合わせ

E-mail : system@dangobros.com

製品ホームページ

<http://www.dangobros.com/sekisan2/>